

令和元年 7月26日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 英語

代表者 新立昭比中 学校

氏名 沢田時雄

呉市教科用図書調査・研究報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【英語】

観点	基礎・基本の定着
視点	① コミュニケーション能力の基礎の定着を図るための工夫
方法	○ コミュニケーションを行うことができる活動の扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(1年) 各単元のパートに英語を聞いて日本語の質問に日本語の選択肢から正しいものを選ぶ「聞く」や基本文を使って表現する「話す」「書く」のうち2つずつ活動が設定されている。</p> <p>(2年) 各単元のパートに英語を聞いて日本語の質問に日本語の選択肢から正しいものを選ぶ「聞く」や基本文を使って表現する「話す」、本文(読んで考える)の後に本文の内容に関する英問英答がある。各単元の最後にActivityとして「聞く」「話す」「書く」の活動がまとめて設定されている。</p> <p>(3年) 同上</p>
開隆堂	<p>(1年) 各パートの基本文の後に、英語を聞いて日本語の質問に絵の選択肢から正しいものを選ぶ「聞く」や、基本文にならって表現する「話す」がある。「話す」の後に、覚えた表現を使った対話練習をする「Try」がある。本文の後には、本文の内容に関する英問英答、基本文を使って表現する「書く」がある。</p> <p>(2年) 同上</p> <p>(3年) 同上</p>
学図	<p>(1年) Lesson 1～5は各パートの本文の後に日本語で本文の内容を問い、日本語で答える活動がある。Lesson 6からは各パートの本文の後に英問英答が1問ある。基本文の導入の後に「聞く」があり、聞いたことを絵から選ぶ活動がある。その後、「話す」「書く」活動と続く。「書く」活動は「話す」活動で話したことを書き留める活動が多い。各単元の最後にReviewとして「聞く」「話す」「書く」の活動がまとめて設定されている。</p> <p>(2年) 各パートの本文の後に英問英答が1問ある。基本文の導入の後に「聞く」があり、聞いたことを絵から選ぶ活動が多い。その後、「話す」「書く」活動と続く。「書く」活動は「話す」活動で話したことを書き留める活動が多い。各単元の最後にReviewとして「聞く」「話す」「書く」「読む」の活動がまとめて設定されている。</p> <p>(3年) 同上</p>
三省堂	<p>(1年) Lesson 1～3は各パートに、最初に「聞く」活動がある。基本文、本文の後に「話す」「書く」活動がある。Lesson 4からは各パートで基本文の導入の後に「Drill」があり、「聞く」「話す」「書く」活動をして基本文の練習をする。英語を聞いて日本語の質問に絵の選択肢から正しいものを選ぶ「聞く」や、基本文を使って表現する「話す」や「書く」がある。Lesson 7からはタイトルページに写真や絵があり、それについての英問英答がある。</p> <p>(2年) 各Lessonのタイトルページに写真や絵があり、それについての英問英答がある。各LessonのGetでは、基本文の導入の後に「Drill」があり、「聞く」</p>

	<p>「話す」「書く」活動をして基本文を練習する。パート毎に英語を聞いて日本語の質問に絵の選択肢から正しいものを選ぶ「聞く」や、基本文を使って表現する「話す」や「書く」がある。</p> <p>(3年) 同上</p>
教出	<p>(1年) L3からHopというパート毎に「Activity」として、基本文を使って表現する「Tool Kit」がある。また、英語を聞いて日本語の質問に選択肢から正しいものを選ぶ「聞く」や基本文を使って表現する「話す」「書く」がある。各単元の終わりにTaskとして本文の内容を要約して書いたり、話したりする「読む & 話す」や人物あてクイズ、紹介などの「話す」「書く」活動が設定されている。</p> <p>(2年) 各単元のHopというパート毎に「Activity」として、基本文を使って表現する「Tool Kit」がある。また、英語を聞いて日本語の質問に選択肢から正しいものを選ぶ「聞く」や基本文を使って表現する「話す」「書く」がある。各単元の終わりにTaskとして本文の内容を要約して書いたり、話したりする「読む & 話す」や「話す」「書く」活動が設定されている。</p> <p>(3年) 同上</p>
光村	<p>(1年) 各単元のタイトルページに写真があり、それに関連する日本語での質問がある。単元8からは英問英答。また、このページで本文を目で追うことなく「聞く」で話の概要をつかむ。パート毎に「読む」で本文に関する日本語での問いや英問英答がある。基本文の後に基本文を使った「聞く」「Drill」「話す」「書く」活動が設定されている。</p> <p>(2年) 各単元のタイトルページの写真において、英問英答がある。また、このページで本文を目で追うことなく「聞く」で話の概要をつかむ。各パートの内容は2年に同じ。</p> <p>(3年) 同上</p>

【英語】

観点	基礎・基本の定着
視点	② 言語・文化に対する理解を深めるための工夫
方法	○ 文法事項の提示の仕方

発行者	調査・研究内容
東書	(1年・2年・3年) 各単元のパートごとに「基本文」としてまとめられ、その横に日本語で文法説明が示されている。まとめと練習では、大切な部分に色が付けられており、文法事項が表で整理されている。
開隆堂	(1年・2年・3年) 各単元のパートごとに「Basic Dialog」としてまとめられ、その横に日本語で文法事項が説明されている。また、「英語のしくみ」(まとめ)を見て理解を深めることができるように、関連するページも記載されている。
学図	(1年・2年・3年) 各単元のパートごとに「Target Sentence」としてまとめられ、日本語の説明が提示されている。「Check It Out」ではどのような状況や場面で使うのかということに重点をおいて文法事項が色で整理されている。
三省堂	(1年・2年・3年) 各単元のパートごとに「POINT」としてまとめられ、その横に日本語で文法説明が示されている。「文法のまとめ」では、大切な部分に色が付けられた文法事項が表で整理されている。
教出	(1年・2年・3年) 各単元のパートごとに「基本文」としてまとめられ、「ここがポイント」として文法の説明が示されている。「英語のしくみ」では文法事項が整理されている。
光村	(1年・2年・3年) 各単元のパートごとに「基本文」としてまとめられ、その横に日本語で文法事項が説明されている。また、「Language Focus」(まとめ)を見て理解を深めることができるように、関連するページも記載されている。

【英語】

観点	基礎・基本の定着
視点	② 言語・文化に対する理解を深めるための工夫
方法	○ 文化に対する理解を深める内容

発行者	調査・研究内容
東書	(登場人物) 日本人, インド人, カナダ人, オーストラリア人, ブラジル人, アメリカ人
	(1年)
	Unit 4 外国人の自宅でのホームパーティーを場面とし, ドギーバッグ(飼いイヌへのおみやげにする→食べ残した料理を持ちかえるために使われる容器)を取り扱っている。
	Unit 5 同じ料理でも, 国によって, 調理の仕方や食べ方が異なったり, 朝食のメニューも様々であったりすることを取り扱っている。
	Unit 8 日本で有名な作品 (Harry Potter, Winnie-the-Pooh, The Tale of Peter Rabbit) がイギリス発祥であるということを取り扱っている。
	Unit 9 中国の伝統芸能変面や漢字の意味を取り扱っている。
	Unit 10 ボストン美術館蔵「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」を取り扱っている。
	Unit 11 日本の大晦日や正月の過ごし方を取り扱っている。
	(2年)
	Unit 1 アメリカの姉妹校とインターネット上の掲示板で情報交換する場面設定で, 日本の中学生の生活との違いを取り扱っている。
	Unit 5 身の回りにあるユニバーサルデザインやその理念について取り扱っている。
	Unit 6 「落語」を通して, 文化の違いを超えて通じる「笑い」や日本の伝統文化の偉大さを取り扱っている。
	Presentation 2 中国の福建土楼や石川県の長町武家屋敷跡を取り扱っている。
	Presentation 3 ベネズエラのエル・システムと福島県のエル・システムを取り扱っている。
	Let's Read 3 ソーラークッカーを取り扱っている。
	(3年)
	Unit 1 浮世絵をはじめ, 他国でも人々を惹きつけているまんがやアニメなどの日本文化を取り扱っている。
	Presentation 1 日本文化の紹介の仕方を取り扱っている。 アロハシャツの発祥やデニムの凱旋(倉敷市のデニム製品)について取り扱っている。
	Unit 3 フェアトレードのしくみと意義を取り扱っている。
	Unit 5 ロボットの進化と普及の利点や心配な点を取り扱っている。
(まとめ)	
登場人物は, 日本人を含むアジア, オセアニア, 南北アメリカ, ヨーロッパの人を取り扱っている。内容は, 全ての地域を扱い, 様々な文化を紹介している。例えば, 民族独自の食文化や伝統芸能を挙げている。日本文化については, 正月, 落語, 浮世絵等を扱い, 日本の良さを取り上げている。また, フェアトレードのように他教科との関連を図った題材も扱われている。	

開隆堂	<p>(登場人物) 日本人, アメリカ人, カナダ人, イギリス人, インド人 (1年生)</p> <p>Program 3 日本のすし, マンガ, アニメが世界で人気が高く, sushi, manga, anime として英語になっていることを取り扱っている。</p> <p>Program 5 海外の食文化を取り扱っている。</p> <p>Program 6 シャーロックホームズや作家のアーサー・コナン・ドイルと併せて人気アニメ「名探偵コナン」を取り扱っている。</p> <p>Program 8 日本の文化の一つである折り紙を取り扱っている。</p> <p>Program 9 日本の正月の一場面を取り扱っている。</p> <p>Program 10 ワシントン土産のカチーナ人形を取り扱っている。 (2年生)</p> <p>Program 1 日本の文化枯山水や韓国民族村, イースターエッグを取り扱っている。</p> <p>Program 3 世界の Charity Walk を取り扱っている。</p> <p>Program 4 「英語での落語」を題材として, 文化の違いをこえて通じる「笑い」や日本の伝統文化の偉大さを取り扱っている。</p> <p>Program 10 オーストラリアと日本のホームステイの体験談を通して受け入れ方の違いと言語の特性の違いを取り扱っている。</p> <p>Program 11 伝統的な生活スタイルが残っている白川郷を取り扱っている。 (3年生)</p> <p>Program 2 日本の世界遺産を取り扱っている。</p> <p>Program 5 回転寿司の歴史や発展, 世界への普及, 海外で人気となっている日本食や日本食レストランについて取り扱っている。</p> <p>Program 6 まんがのルーツと言われる鳥獣戯画やけん玉を取り扱っている。</p> <p>My Project 伝統行事の紹介の仕方を取り扱っている。 (まとめ)</p> <p>登場人物は, 日本人を含むアジア, 北アメリカ, ヨーロッパの人を取り扱っている。内容は, 全ての地域を扱い, 言語の特性や生活習慣を取り上げて, 様々な文化を紹介している。日本文化については, 正月, 京都, 回転寿司や鳥獣戯画等を扱い, 日本の良さを紹介している。</p>
学図	<p>(登場人物) 日本人, インド人, カナダ人, アメリカ人 (1年生)</p> <p>Lesson 6 インターネットでのやりとりや写真を通して, アメリカの中学生の生活について取り扱っている。</p> <p>Lesson 7 正月のおせち料理や感謝祭, クリスマスでの特別な食べ物や書き初めといった風習を取り扱っている。 (2年生)</p> <p>Lesson 1 お相撲さんの稽古や生活, 食を取り扱っている。</p> <p>Lesson 4 イギリスの食文化 (roast beef, Yorkshire pudding) やスポーツ (football), 乗り物 (Eurostar) を取り扱っている。</p> <p>Lesson 7 世界遺産 (Kilimanjaro National Park, Iguaz Falls, Angel Falls, Nazca Lines, Machu Picchu) を取り扱っている。</p> <p>Lesson 8 まんが, アニメ, 日本映画など多くの日本文化が海外へ広まっていることを取り扱っている。</p>

	<p>(3年生)</p> <p>Lesson 1 日本の有名な世界遺産を取り扱っている。</p> <p>Lesson 3 インドの食べ物や食べ方の習慣を取り扱っている。</p> <p>(まとめ)</p> <p>登場人物は、日本人を含むアジアと北アメリカの人を取り扱っている。全ての地域を扱い、多くの国を取り上げ、ジェスチャーの違いなど具体的に文化の違いを挙げている。日本文化については、正月、奈良・京都、すもう、まんが、アニメ等を扱うことで、日本の良さを紹介している。</p>
三省堂	<p>(登場人物) 日本人, オーストラリア人, イギリス人, 中国人, アメリカ人, インド人</p> <p>(1年生)</p> <p>Lesson 2 日本の古い通貨や書籍, カレンダーを取り扱っている。</p> <p>Lesson 3 だし巻き卵を取り扱っている。</p> <p>Lesson 6 イギリスのスポーツ (cricket) や楽器 (bagpipes) を取り扱っている。</p> <p>Lesson 8 アメリカの中学校生活を取り扱っている。</p> <p>Lesson 9 日本の身近な年中行事を取り扱っている。</p> <p>(2年生)</p> <p>Lesson 1 ハワイの伝統文化 (hula) を取り扱っている。</p> <p>Lesson 2 イギリスの児童文学 (The Tale of Peter Rabbit) を取り扱っている。</p> <p>Lesson 3 世界遺産である小笠原諸島を取り扱っている。</p> <p>Lesson 4 すしの種類や作り方など日本の食文化を取り扱っている。</p> <p>Let's Read1 日本の伝統芸能である狂言が原作である物語を取り扱っている。</p> <p>Lesson 5 世界遺産の Uluru を取り扱っている。</p> <p>(3年生)</p> <p>Lesson 2 フランスの文化と日本の文化には交流があることを取り扱っている。</p> <p>Lesson 3 「落語」を通して、文化の違いを超えて通じる「笑い」や日本の伝統文化の偉大さを取り扱っている。</p> <p>Lesson 5 モンゴル遊牧民の移動式住居, アメリカの映画文化 (Hollywood), ブラジルの文化 (スポーツ, リオのカーニバル, 日系ブラジル人の歴史) を取り扱っている。</p> <p>Project2 日本文化の紹介の仕方を取り扱っている。</p> <p>(まとめ)</p> <p>登場人物は、日本人を含むアジア, オセアニア, 北アメリカ, ヨーロッパの人を取り扱っている。内容は、全ての地域を扱い、様々な文化を紹介している。例えば、日本文化については、四季の行事, 寿司, 落語, 狂言等を扱うことで、日本の良さを紹介している。</p>
教出	<p>(登場人物) 日本人, オーストラリア人, アメリカ人, シンガポール人</p> <p>(1年生)</p> <p>Lesson 5 日本の中華街の様子を取り扱っている。</p> <p>Lesson 6 日本・アメリカ・オーストラリアの風俗習慣比較を学校生活のなかで取り扱っている。</p> <p>Lesson 7 日本のまんがは海外でも人気があり、アニメ文化が海外に広がっていることを取り扱っている。</p> <p>Lesson 8 アメリカのクリスマスやハワイの地理, 食文化を取り扱っている。</p>

<p>教出</p>	<p>Lesson 9 オーストラリアの観光地 (Aboriginal park) や文化 (face painting, boomerang) を取り扱っている。 (2年生)</p> <p>Lesson 4 正岡子規, 俳句, 句碑, 温泉を取り扱っている。 Lesson 5 外国の風俗習慣ハロウィーンを取り扱っている。 Reading Lesson 2 日本のマンガ文化の生みの親である「手塚治虫」のマンガを取り扱っている。 (3年生)</p> <p>Lesson 1 イギリスの文化と歴史を取り扱っている。 Lesson 2 日本の伝統文化である京料理, 出汁, うま味を取り扱っている。 Lesson 3 桂かい師の英語落語を取り扱っている。 Lesson 4 ベトナムの祭りを取り扱っている。 (まとめ)</p> <p>日本人を含むアジア, オセアニア, 北アメリカの人を取り扱っている。内容は, 南アメリカを除いた地域の様々な文化を紹介している。例えば, ハロウィーンパーティや盲導犬の歴史を挙げている。日本文化については, 京料理, 弁当, 俳句, アニメ, 漫画, 落語等を扱うことで, 日本の良さを紹介している。</p>
<p>光村</p>	<p>(登場人物) 日本人, オーストラリア人, アメリカ人, 韓国人 (1年生)</p> <p>Unit 5 日本の夏の祭り (浴衣, 盆踊り, 出店) を取り扱っている。 Unit 10 大みそか, 正月の過ごし方を取り扱っている。 Unit 11 すしや書き初めを取り扱っている。 (2年生)</p> <p>Unit 4 セントラルパークにある不思議の国のアリスの像を取り扱っている。 Unit 5 沖縄の楽器, 三線や民謡を取り扱っている。 Go for It! 大阪の中学生が作った名所や伝統的な行事の紹介文を取り扱っている。 (3年生)</p> <p>Unit 1 韓国の学校生活を取り扱っている。 Unit 3 京都の寺 (大山寺, 清水寺) や座禅を取り扱っている。 Go for It! 金閣寺を取り扱っている。 (まとめ)</p> <p>登場人物は, 日本人を含むアジア, オセアニア, 北アメリカの人を取り扱っている。内容は, 全ての地域を扱い, 生活様式が主である。日本文化については, 祭り, 正月, 寿司, 書き初め, 京都等を扱い, 日本の良さを紹介している。海外の人から日本がどのように見えているかについても扱っている。</p>

【英語】

観点	基礎・基本の定着
視点	③ 第1学年導入期における小学校外国語活動からの接続の工夫
方法	○ 第1学年導入期における題材数、題材名及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(1年)「Hi, English!」①から③の3題材がある(7ページ分)。「①英語であいさつをしよう」(あいさつ, 教室英語), 「②身のまわりのものを英語で言おう」, 「③英語でいろいろなことを言おう」(数字, 曜日, 時間割, 誕生日, 好きな食べ物・飲み物, できること) という題材がある。</p> <p>英語を聞いて単語を探して印をつけたり, 声に出して言ったりする活動がある。③では, 友だちに Do you like~?や Can you~?を使ってインタビューする活動があり, 外国語活動と同様の活動が設定されている。</p>
開隆堂	<p>(1年)「Let's Start」①から④の4題材がある(8ページ分)。「①新しい友だちをつくらう」(教室英語), 「②町の中の会話を聞こう」, 「③身の回りにあるものの英語」, 「④英語を聞いてみよう・使ってみよう」という題材がある。</p> <p>④では, 友だちに Do you like~?や Can you~?を使ってインタビューして, 教科書にサインをもらう活動があり, 外国語活動と同様の活動が設定されている。</p>
学図	<p>(1年)「Pre-lesson」に3題材(4ページ分)。「Let's Start」に5題材がある(11ページ分)。「Pre-lesson」では「会話を聞いてみよう」「クラスメードと自己紹介をしよう」「自己紹介をしよう」がある。自己紹介では聞く活動のあと, クラスメードと自己紹介したり, みんなの前で自己紹介したりする活動がある。「Let's Start」では, 「The Alphabet」, 「つづりと発音 A, B」, 「身の回りの英語」「あいさつをしよう」がある。「つづりと発音」ではフォニックスでの活動が多く取り入れられ, 単元に入る前の準備段階として設定されている。</p>
三省堂	<p>(1年)「Get Ready」に5題材ある(12ページ分)。「コミュニケーションを楽しもう」, 「友達になろう」(スポーツ, 食べ物, 動物の単語), 「アルファベットを覚えよう」「英語の音とつづりに親しもう」(aからzまでの単語), 「英語の文字を書いてみよう」がある。そのすぐ後に付録(2ページ分)があり, 教室で使う英語が紹介されている。</p> <p>「英語の文字を書いてみよう」では, 国名コードを探して書いたり, アルファベットを並べ替えて単語を作ったりする活動などがある。タッチングゲームやキーワードゲームなど外国語活動と同様の活動が設定されている。</p>
教出	<p>(1年)「Springboard」に10題材ある(16ページ分)。「あいさつをしよう」「こんなときはこう言おう」「身のまわりの英語①, ②」「アルファベットに親しもう」「アルファベットの音とつづりに親しもう」「数字」「曜日と教科」「色」「名前を書こう」がある。</p> <p>また小学校でよく行っていたタッチングゲームや3ヒントクイズなどがある。また, CDを聞いて教科書に記入する活動など, 外国語活動と同様の活動が設定されている。</p>

光村	<p>(1年)「Let's Enjoy English」に8題材ある(14ページ分)。「あいさつ」「さまざまな場面での英語」「アルファベット1, 2」「身の回りのもの1, 2」「数字」「教室で使う英語」がある。</p> <p>「身の回りのもの2」では、英語を聞いて単語を指さしたり繰り返したりする活動の後、絵の中の物がいくつあるかを答える活動など、外国語活動と同様の活動が設定されている。</p>
----	--

【英語】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	④ 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するための工夫
方法	○ 生徒が自ら考え、表現を選択できる言語活動の扱い

発行者	調査・研究内容																									
東書	<p>(1年) 各単元のパート毎に、「基本文」のあと「話す」や「書く」で自分のことについて書いたり、ペアで話し合ったりする活動が設定されている。 「Tool Box」コーナーが単元ごとにあり、自己表現活動に役立つ単語や表現がまとめられている。</p> <p>(2年) 各単元のパート毎に、「基本文」のあと「話す」や「書く」で自分のことについて書いたり、ペアで話し合ったりする活動が設定されている。 「Tool Box」コーナーが単元ごとにあり、自己表現活動に役立つ単語や表現がまとめられている。 「Activity」では「Tool Box」コーナーの語句を使い、自分の意見をまとめたり、友達の意見をたずね合ったりする活動が設定されている。</p> <p>(3年) 2年に同じ。</p>																									
	「Tool Box」																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>箇所</th> <th>単語</th> <th>連語</th> <th>文</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>36</td> <td>108</td> <td>72</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>25</td> <td>79</td> <td>57</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>19</td> <td>31</td> <td>38</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>80</td> <td>218</td> <td>167</td> <td>155</td> </tr> </tbody> </table>	学年	箇所	単語	連語	文	1	36	108	72	40	2	25	79	57	49	3	19	31	38	66	計	80	218	167	155
	学年	箇所	単語	連語	文																					
	1	36	108	72	40																					
2	25	79	57	49																						
3	19	31	38	66																						
計	80	218	167	155																						
「Bonus Word Box」(巻末)																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>箇所</th> <th>単語</th> <th>連語</th> <th>文</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9</td> <td>79</td> <td>84</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6</td> <td>156</td> <td>48</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5</td> <td>20</td> <td>73</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20</td> <td>255</td> <td>205</td> <td>74</td> </tr> </tbody> </table>	学年	箇所	単語	連語	文	1	9	79	84	15	2	6	156	48	22	3	5	20	73	37	計	20	255	205	74	
学年	箇所	単語	連語	文																						
1	9	79	84	15																						
2	6	156	48	22																						
3	5	20	73	37																						
計	20	255	205	74																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目録</th> <th>絵</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Tool Box</td> <td>あり</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>Bonus Word Box</td> <td>あり</td> <td>あり</td> </tr> </tbody> </table>		目録	絵	Tool Box	あり	なし	Bonus Word Box	あり	あり																
	目録	絵																								
Tool Box	あり	なし																								
Bonus Word Box	あり	あり																								

開隆堂

- (1年) 各単元のパート毎に、「基本文」のあと「Speak」や「Try」で自分のことについて話したり、ペアで話し合ったりする活動が設定されている。また、本文のあとに「Write」で自分のことについて書く活動が設定されている。「WORD BOX」コーナーがあり、自己表現活動に役立つ単語や表現がまとめられている。
- (2年) 各単元のパート毎に、「基本文」のあと「Speak」や「Try」で自分のことについて話したり、ペアで話し合ったりする活動が設定されている。また、本文のあとに「Write」で自分のことについて書く活動が設定されている。Readingの単元をのぞいて、各単元に「WORD BOX」コーナーがあり、自己表現活動に役立つ単語や表現がまとめられている。
- (3年) 2年に同じ。Readingの単元をのぞいて、各単元に「WORD BOX」コーナーがあり、自己表現活動に役立つ単語や表現がまとめられている。

「WORD BOX」

学年	箇所	単語	連語	文
1	22	66	60	0
2	26	77	83	0
3	19	30	75	0
計	67	173	218	0

「Expression Box」

学年	箇所	単語	文	会話
1	1	0	0	3
2	5	0	7	9
3	5	0	19	2
計	11	0	26	14

巻末資料

学年	頁	単語	連語	文
1	3	13	40	8
2	9	65	104	14
3	3	23	35	6
計	15	101	179	28

学図

- (1年) 各単元のパート毎に、「基本文」のあと「話す」活動の一部で自分のことについて話したり、ペアで話し合ったりする活動が設定されている。また、「話す」活動の後に話したことを書く活動が設定されている。「Tips」としてコミュニケーションをとる上で知っておくと便利な言い回し等の情報が掲載されている。
- (2・3年) 1年に同じ。

「Word Tree」絵付き

学年	箇所	単語	連語	文
1	6	78	31	63
2	4	42	2	40
3	1	26	0	9
計	11	146	33	112

「More Words」(巻末) 日本語・絵付き

学年	頁	単語	連語	文
1	6	65	43	15
2	2	42	9	4
3	3	51	0	18
計	11	158	52	37

「Tips」(便利な言い回し)

1年生 12個

2年生 20個

3年生 14個 計46個

三省堂

(1年) 各単元のパートごとに、「話してみよう」や「書いてみよう」で自分のことについて書いたり、ペアで話し合ったりする活動が設定されている。単元7からのUseでは「話す」「書く」においてモデルを練習した後に自分のことを自由に話したり、記事やクイズを作って発表したりする課題が設定されている。

「Word Bank」コーナーや「Idea Box」があり、自己表現活動に役立つ単語や表現がまとめられている。

(2年) 各単元のパートごとに、「基本文」のあと「話す」や「書く」において自分のことについて書いたり、ペアで話し合ったりする活動が設定されている。各単元のUseでは「Speak」「Write」において自分のことを自由に話したり、記事を書いたりする課題が設定されている。

「Word Bank」コーナーや「Idea Box」があり、自己表現活動に役立つ単語や表現がまとめられている。

(3年) 2年に同じ。

「Word Bank」絵付き

学年	箇所	単語	連語	文
1	15	86	65	12
2	17	102	46	14
3	14	79	33	21
計	46	267	144	49

「Idea Box」日本語付き

学年	箇所	単語	連語	文
1	4	28	18	51
2	17	24	79	65
3	15	14	62	79
計	36	66	159	195

「Expressions」日本語付き

学年	箇所	単語	連語	文
1	6	8	14	2
2	6	4	25	0
3	6	41	13	2
計	18	53	52	4

【使用実績に関すること】

各レッスンのパートごとにWord Bank, Let's TalkやProjectにはIdea Box, Let's ListenにはExpressionsが設けられており、話したり、聞いたり、書いたりする活動を行うときに、参考にする語彙が豊富であった。また、日常会話でよく使う表現は何度も取り上げているので、活用し定着しやすかった。

教出

(1年) 各単元のパートごとに、「話す」や「書く」で自分のことについて書いたり、ペアで話し合ったりする活動が設定されている。各単元の終わりに「Jump Task」として自分のことについて書いたり、話したりする課題が設定されている。

(2, 3年) 同上

「And More Words」日本語訳付き

学年	箇所	単語	連語	文
1	5	11	5	0
2	5	11	11	1
3	5	6	2	6
計	15	28	18	7

「And More Words」「覚えているかな」(別冊)日本語訳付き

学年	箇所	単語	連語	文
1	45	100	67	6
2	53	109	86	5
3	42	110	53	3
計	140	319	206	14

光村

(1年) 各単元のパートごとに、「話す」や「書く」で自分や友達のことについて話したり書いたりする活動が設定されている。また、各単元の終わりに「You Can Do It!」として自分のことについて書いたり、話したりする課題がまとめて設定されている。課題の近くに、「Word Square」を参照というマークが付けられている。

(2年) 同上

(3年) 同上

「Word Box」日本語付き

学年	頁	単語	連語	文
1	16	58	8	2
2	19	51	40	0
3	9	26	10	0
計	44	135	58	2

「Word Square」絵付き

学年	頁	単語	連語	文
1	6	117	67	26
2	5	42	78	16
3	4	35	56	12
計	15	194	201	54

【英語】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤ 興味・関心を高めるための工夫
方法	○ 各単元の導入や振り返りの扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【めあての示し方】 (1年・2年・3年) 目次において各学年の学習内容が示されている。また各学年の目標と3年間の見通しが示されている。Unitごとに単元の目標が示されており、文末は「述べることができる」「説明することができる」という表現になっている。</p> <p>【自己評価コーナー】 (1年・2年・3年) Can-do リスト なし ※Can-Do リスト形式ではないが、基本文や主な表現が英語と日本語で示され、基本文や表現が身に付いているかを確認できるようになっている。</p>
開隆堂	<p>【めあての示し方】 (1年・2年・3年) 目次において3年間の「My Project」の内容、また各学年の「この教科書で学ぶみなさんへ」「My Project」の学習のつながりがわかるように図式化されている。単元の各Partには「～について言えるようしよう」「答えたりできるようしよう」という表現になっている。</p> <p>【自己評価コーナー】 (1年・2年・3年) Can-do リスト 有 巻末の付録にある「英語で『できるようになったこと』リスト」では、3年間の学習到達目標があり、いつ何ができるようになったか、リストを使って、チェックできるようになっている。</p>
学図	<p>【めあての示し方】(各Chapterは、1～3のLessonが入っている。) (1年・2年・3年) 目次において各学年の学習内容が示されている。大单元ごとにテーマが設定されており、単元の目標に「『～という表現』を学び、学んだ結果『～ができるようになります』」という表現になっている。</p> <p>【自己評価コーナー】 (1年・2年・3年) Can-do リスト なし 単元の最後に「Review」があり、「聞く」「読む」「話す」「書く」という活動を通して基本文や重要表現が身に付いているかを確認できるようになっている。</p>
三省堂	<p>【めあての示し方】 (1年・2年・3年) 目次において各学年の学習内容が示されている。単元ごとに「この課で学ぶこと」が示されており、文末は「～について知る、考える」「～を使う」「～を読む」「～を書く」「～について発表する」という表現になっている。</p> <p>【自己評価コーナー】</p>

	<p>(1年・2年・3年) Can-do リスト 有 巻末の付録には、基本文が英語と日本語で示され、身に付いているかを確認することができる。また、巻末見返しにある「What Can I Do?」には各学年の Can-do リストがあり、自己評価、振り返りができるように関連箇所が示してある。</p>
教出	<p>【めあての示し方】 (1年・2年・3年) 目次において各学年の学習内容が示されている。単元の各パートに目標が示され、文末は「説明できる」「質問できる」「述べるができる」という表現になっている。</p> <p>【自己評価コーナー】 (1年・2年・3年) Can-do リスト 有 単元ごとに「Task」というコーナーで振り返る活動が設けてある。また、巻末の付録では、「Can-do 自己チェックリスト」があり、全学年の Can-do リストも示してある。自己評価をする際の関連箇所を示してあり、参照しながら自己評価できるようになっている。</p>
光村	<p>【めあての示し方】 (1年・2年・3年) 目次において各学年の学習内容が示されている。また、単元ごとに目標が示され、文末は「～できる」という表現になっている。</p> <p>【自己評価コーナー】 (1年・2年・3年) Can-do リスト なし Can-Do リストの形式ではないが、各単元の最後に「You Can Do It!」のコーナーがあり、実際によくある場面で、目標が達成できたかをA～Dの4段階でチェックし、振り返ることができる。また、巻末に、基本文や主な表現が英語と日本語で示され、基本文や表現が身に付いているかを確認できるようになっている。</p>

【英語】

観点	主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥ 言語材料の活用の工夫
方法	○ 4技能を統合的に活用させる言語活動の扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(1年) 「Presentation 1 自己紹介」において、単元4までの学習事項を活用して、自分の好きな教科・スポーツ・食べ物・その他から話題を選び、それに説明を加えて自己紹介をする学習が設定されている。</p> <p>「Presentation 2 一日の生活」において、単元9までの学習事項を活用して、学校へ行くまで、学校で、家に帰ってからの行動について一日の生活について発表する学習が設定されている。</p> <p>「Presentation 3 思い出の行事」において、単元11までの学習事項を活用して、自分の発表したい行事を選び、その時自分が何をしたか、またその時の感想や気持ちを入れて思い出の行事について発表する学習が設定されている。</p> <p>(2年) 「Presentation 1 将来の夢」において、単元3までの学習事項を活用して、将来の夢とその理由を2つ述べ、その夢の実現のためにしていることを入れて発表する学習が設定されている。</p> <p>「Presentation 2 町紹介」において、単元6までの学習事項を活用して、自分の町について地理的な位置、特色そしてそこで何ができるかなどを入れて発表する学習が設定されている。</p> <p>「Presentation 3 好きなこと・もの」において、単元7までの学習事項を活用して、自分の好きなこと・ものについてその簡単な説明と好きな理由、さらに一言加えて発表する学習が設定されている。</p> <p>(3年) 「Presentation 1 日本文化の紹介」において、単元1までの学習事項を活用して、日本文化の名称・定義に簡単な説明と特徴、具体的な内容を加え、最後に自分の一言を入れて発表する学習が設定されている。</p> <p>「Presentation 2 修学旅行」において、単元3までの学習事項を活用して、自分の修学旅行について行き先・時期、行き先に関する紹介や旅行目的、印象に残ったところ、その他にしたこと、最後に感想やまとめを入れて発表する学習が設定されている。</p> <p>「Presentation 3 中学校生活」において、単元6までの学習事項を活用して、これまで取り組んできたことの内容と一番の思い出、これから取り組みたいことと結びのことばを入れて発表する学習が設定されている。</p> <p>第1学年から第3学年をとおして、テーマ毎に発信する「Presentation」が各学年に3回ずつ設定されている</p>
開隆堂	<p>(1年) 「My Project 1 自分のことを話そう」において、単元4までのWriteを活用して、スピーチの構成を学び、自然な流れになるように自己紹介をする学習が設定されている。</p> <p>「My Project 2 人を紹介しよう」において、単元8までのMy Projectを活用して、マッピングを用いて本文の構想を考え、前後の文と文のつながりのある文で自分の好きな人の紹介文を発表する学習が設定されている。</p> <p>「My Project 3 知りたい情報を引き出そう」において、今まで学習してきた</p>

	<p>様々な疑問文とその答え方を総復習する。自分でのチェックからペアでの「クイックQ&A」、カードを用いての「有名人のプロフィールを調べよう」というインタビューゲーム、最後に先生にインタビューするという学習を通して、5W1Hを用いて質問する学習が設定されている。</p> <p>(2年)「My Project 4 スキット作りを楽しもう」において、単元3までのMy Projectを活用して、対話のつなぎ方を学習し、場面・登場人物・話題を設定し、ペアでスキットを作り演じる学習が設定されている。</p> <p>「My Project 5 スピーチをしようーこんな人になりたい」において、単元7までのMy Projectを活用して、自分の身近な人、テレビに出てくる人、スポーツ選手の中から一人を選び、「自分もこの人のように生きてみたい」というテーマで、スピーチ構想を作成し、発表する場面が設定されている。</p> <p>「My Project 6 CMを作ろうーこんなものがほしい」において、単元11までのMy Projectを活用して、CMを短時間で効果的にメッセージを伝えるコミュニケーションの手段とし、コマーシャルの構成を学び、ペアで台本を作り演じる学習が設定されている。</p> <p>(3年)「My Project 7 あの人にインタビューしよう」において、単元3までのMy Projectを活用して、ペアでインタビューをしたい人について調べ、その情報を用い30秒(50語)程度の台本を作り、発表する学習が設定されている。</p> <p>「My Project 8 日本文化を紹介しよう」において、単元6までのMy Projectを活用し、伝統行事の紹介の仕方を学び、自分との関わり気持ちを加え、50語程度で日本文化について発表する学習が設定されている。</p> <p>「Special Project 卒業に向けてー思いを伝えよう」において、「卒業への思い」「お世話になった人への手紙」「中学校生活の思い出」「未来の自分への手紙」のテーマから1つ選び、自分の書きたいことをマッピングで整理し、文の構成に注意し、メッセージを書く学習が設定されている。</p> <p>第1学年から第3学年をとおして、「My Project」という活動を仕組んでおり、テーマごとに発信する内容が各学年に3回ずつ設定されている。また各「My Project」での目標を達成するため、各課(PROGRAM)で取り組んだ準備活動をもとに振り返り確かめながら学習できるように構成されている。それを「My Project」と目次や該当ページに明記している。また「My Project」には、友だちとの意見交流や協力を促す「協働」という指示もある。また発表が終わった後には、観点を示し、自己評価を行うようになっている。</p>
学図	<p>(1年)「Chapter1 Project 自分のことを伝えよう」において、単元1までの学習事項を活用して、自己紹介をグループで発表する学習が設定されている。</p> <p>「Chapter2 Project ○○さんを紹介しよう」において、単元2までの学習事項を活用して、紹介したい人の写真や似顔絵を見せながら自分の気持ちなどを加えて紹介文をグループで発表する学習が設定されている。</p> <p>「Chapter3 Project 写真の説明をしよう」において、単元3までの学習事項一特にcanや現在進行形を用いて、写真についての説明を書く学習が設定されている。</p> <p>「Chapter4 Project 手紙を書こう」において、単元4までの学習事項を活用して、お世話になった外国人の先生に手紙を書くという学習が設定されている。手紙の構成(あいさつ・内容・結びの言葉・終わりのあいさつ)も指導している。</p>

「Book1 Project Show & Tell をしよう」において、1年の学習のまとめとして、自分の大切なものを紹介する文を作成し、大切なものを見せながらグループで発表する学習が設定されている。

(2年) 「Chapter1 Project 日記を書こう」において、単元1までの学習事項を活用して、日記の書き始めや最後のしめくくりの言葉を入れて1日の英文日記を書く学習が設定されている。

「Chapter2 Project 旅行の計画を立てよう」において、単元2までの学習事項を活用して、「行きたいところ・したいこと」「その理由や詳しい説明」を加えて原稿を作り、スピーチをグループで発表する学習が設定されている。

「Chapter3 Project 将来の夢」において、単元3までの学習事項を活用して、将来つきたい職業やしたいことについて、まとめや決意を加えた原稿を作成し、グループで発表する学習が設定されている。

「Chapter4 Project 私の宝物-My treasure-」において、単元4までの学習事項を活用して、グループで自分の宝物について見せながら発表する学習が設定されている。発表する際、効果的な見せ方や視線、声の大きさや話す速度、声の表情にも工夫するよう指導している。

「Book2 Project 観光パンフレットを作ろう」において、2年の学習のまとめとして、グループで自分の町の魅力を伝えられるパンフレットを作成する。パンフレット全体の構成を決め、担当する項目についてタイトルや最初の1文を大切に文章構成を考える学習が設定されている。

(3年) 「Chapter1 Project 日本の伝統文化を紹介しよう」において、単元1での学習事項を活用して、日本独自の食べ物や身に付けるもの、行事や習慣を紹介する学習が設定されている。

「Chapter2 Project インタビューをしよう」において、単元2までの学習事項を活用して、グループで外国人の先生にインタビューをするという学習が設定されている。その際、「会話でよく使うつなぎ言葉」を必要に応じて使うように指導している。

「Chapter3 Project 尊敬する人についてスピーチをしよう」において、単元3までの学習事項を活用して、自分が尊敬する人について「導入・内容・まとめ」という構成で原稿を作成し、グループで発表する学習が設定されている。まとめの部分で「尊敬する理由や最も伝えたいこと」をしつかりと強調するよう指導している。

「Chapter4 Project 自分の意見を言おう」において、単元4までの学習事項を活用して、①「給食とお弁当、どちらがよい」②「夏休みに遊びに行くなら、海？山？」③「都会と田舎、どちらがよい？」④「ペットを飼うなら、犬？猫？」という4つのテーマでのディスカッションで、自分が指示する意見とその理由を述べる学習が設定されている。またグループで話し合い、人の意見を受けて自分の意見を続けるよう指導している。

「Book3 Project 私の人生」において、3年間の学習のまとめとして、自分の過去・現在・未来についてそれぞれでまとめた「自分史」を書くという学習が設定されている。

第1学年から第3学年をとおして、「Chapter Project」という活動を仕組んでおり、テーマごとに発信する内容が各学年に4回ずつ設定されている。また学年の最後には「Book Project」という活動があり計5回のProjectとなる。

三省堂	<p>(1年)「Project 1 自己紹介しよう」において、単元3までの学習事項を活用して、自分らしさが伝わる自己紹介になるようにメモを見ながら自己紹介をする学習が設定されている。</p> <p>「Project 2 友達にインタビューをしよう」において、単元6までの学習事項を活用して、友達へのインタビューを参考に、紹介文を書く学習が設定されている。</p> <p>「Project 3 大切なものを紹介しよう」において、単元9までの学習事項を活用して、絵や写真を見せながら、自分にとって大切なものとその理由を加えて発表する学習が設定されている。</p> <p>(2年)「Project 1 有名人を紹介しよう」において、単元3までの学習事項を活用して、好きな有名人についてアイデアマッピングを用い情報を整理し、プロフィールを紹介するポスターを作る学習が設定されている。</p> <p>「Project 2 自分の夢を紹介しよう」において、単元6までの学習事項を活用して、“My Dream”というテーマで、将来の夢ややりたいことに理由を2つ加えてメモを作成し、メモを見ながらスピーチを発表する学習が設定されている。</p> <p>「Project 3 自分の町を紹介しよう」において、単元8までの学習事項を活用して、姉妹校の友人に紹介したい場所、そこに何があるか・何ができるかなどの情報を加えた紹介文を書くという学習が設定されている。</p> <p>(3年)「Project 1 先生にインタビューをしよう」において、単元3までの学習事項を活用して、新しくやってきた先生にインタビューをし、わかった情報をもとにプロフィール表を作成するという学習が設定されている。</p> <p>「Project 2 日本文化を紹介しよう」において、単元6までの学習事項を活用し、日本文化を紹介する発表資料を準備し、絵や写真を見せながら発表する学習が設定されている。</p> <p>「Project 3 ディスカッションをしよう」において、単元7までの学習事項を活用し、“city life”と“country life”について自分の意見を述べ、友達の見聞き、さらに自分の意見を付け加えて発表する学習が設定されている。</p> <p>第1学年から第3学年をとおして、「Project」という統合的な活動を仕組んでおり、テーマごとに発信する内容が各学年に3回ずつ設定されている。</p>
教出	<p>(1年)「Project 1 自己紹介しよう！」において、単元3までの学習事項を活用して、実物や写真を見せて自己紹介を暗記し、クラスの前で発表する学習が設定されている。</p> <p>「Project 2 友だちをみんなに紹介しよう！」において、単元6までの学習事項を活用して、ペアでお互いに質問し、その答えのメモをもとに友だちの紹介を発表する学習が設定されている。</p> <p>「Project 3 好きなマンガやアニメなどについて発表しよう！」において、単元9までの学習事項を活用して、4つのテーマを設定し、グループ毎にテーマを選び調査する。その調査結果をわかりやすくグラフにし、グループ内で発表する学習が設定されている。</p> <p>(2年)「Project 1 ミニ英語新聞をつくらう！」において、単元3までの学習事項を活用して、自分の経験・予定・部活動や家族などの紹介の3つの記事を書き、写真やイラストを入れ、わかりやすい英語新聞をつくるという学習が設</p>

	<p>定されている。</p> <p>「Project 2 あなたの夢を語ろう！」において、単元6までの学習事項を活用して、自分の将来の夢やつきたい職業とその理由を2つ加えたスピーチをする学習が設定されている。</p> <p>「Project 3 アンケート調査をして発表しよう！」において、単元8までの学習事項を活用して、グループでアンケート項目を決め調査を行い、調査結果についてわかりやすいグラフや表を用いたポスターを作成する。そのポスターを用いて、情報を整理し発表するという学習が設定されている。</p> <p>(3年)「Project 1 自分たちの町のガイドブックをつくろう！」において、単元3までの学習事項を活用して、紹介したい場所や店の理由をつけ、わかりやすい構成を考えて、グループで自分たちの町のガイドブックをつくるという学習が設定されている。</p> <p>「Project 2 英語で卒業スピーチをしよう！」において、“My…”というテーマでマッピングの手法を使い原稿を作成し、スピーチを発表する学習が設定されている。</p> <p>第1学年から第3学年をとおして、「Project」という活動を仕組んでおり、テーマごとに発信する内容が1・2学年では3回、3学年では2回設定されている。</p> <p>1・2年学年共に、アンケートによる調査結果から「情報を整理し、わかりやすく説明する」というプレゼンテーションスキルを身につける学習が設定されている。</p>
光村	<p>(1年)「Go for It! 1 自己紹介をしよう」において、単元4までの学習事項を活用して、スピーチ構成を学び、マッピングを用いスピーチ原稿を作成し、好きな物やことに他の情報を加えた自己紹介をクラスで発表する学習が設定されている。</p> <p>「Go for It! 2 大切な人のことを紹介しよう」において、単元9までの学習事項を活用して、紹介する人の好きなことに他の情報を加えた原稿を作成し、写真や物を用い、よりわかりやすいように発表する学習が設定されている。</p> <p>「Go for It! 3 ALT新聞を作ろう」において、単元11までの学習事項を活用して、ALTの先生に2つ以上の質問を用意し、インタビューする。わかった情報をもとにA4用紙に2種類以上の記事が載った新聞を作成するという学習が設定されている。</p> <p>(2年)「Go for It! 1 旅のしおりを作ろう」において、単元4までの学習事項を活用して、外国から来た人を案内する2日間の旅程と2箇所以上の場所の説明を入れA4用紙1枚の旅のしおりを作成するという学習が設定されている。</p> <p>「Go for It! 2 職場体験の報告をしよう」において、単元8までの学習事項を活用して、職場で体験したことや感想を入れた原稿を作成し、発表する学習場面が設定されている。</p> <p>「Go for It! 3 『私たちの町』を紹介しよう」において、単元9までの学習事項を活用して、グループで役割を分担し、自分たちの町の名所・伝統的な行事について「全体的な説明・歴史的な情報・見どころ」などの構成を考え、原稿を作成する。それを写真や資料を用い、わかりやすく紹介するという学習が設定されている。</p> <p>(3年)「Go for It! 1 修学旅行新聞を作ろう」において、単元3までの学習事項</p>

を活用して、修学旅行で訪れた場所の説明、エピソードや感想を含めてA4の用紙1枚の新聞を作成するという学習が設定されている。

「Go for It! 2 給食と弁当どちらがいい？」において、単元7までの学習事項を活用して、自分の立場を決めて理由を加えて自分の意見を書く。さらにグループとして意見を決め、別のグループと意見交換するという学習が設定されている。

「Go for It! 3 卒業文集を作ろう」において、3年間の学習のまとめとして、中学校生活のいちばんの思い出について、具体的なエピソードや考えたこと、感想を加えて、内容のまとまりを意識し、わかりやすい文章を書くという学習が設定されている。

第1学年から第3学年をとおして、「Go for It!」という統合的な活動を仕組んでおり、テーマごとに発信する内容が各学年に3回ずつ設定されている。この「Go for It!」は、「～を書くことができる」「～についてスピーチができる」などの目標を明記したCan-doリストとなっており、自己評価し振り返りができる。

【英語】

観点	内容の構成・配列・分量
視点	⑦ 言語材料の配列
方法	○ 既習事項を踏まえた語彙の扱いや、文法事項の配列

調査・研究内容

(We Can! 1 で扱われている文法事項・語彙)

単元	1	2	3	4	5	6	7	8	9
WC1	Hello, everyone	When is your birthday?	What do you have on Monday?	What time do you get up?	She can run fast. He can jump high.	I want to go to Italy.	Where is the treasure?	What would you like?	Who is your hero?
	食べ物・スポーツ・色	月と日付	教科・曜日	生活を表す表現・時刻 1～60 数	動作を表す語	国の名前・状態・気持ち	身の回りの物・建物	食べ物・値段	動作を表す語・状態・気持ち

(We Can! 2 で扱われている文法事項・語彙)

単元	1	2	3	4	5	6	7	8	9
WC2	This is ME!	Welcome to Japan.	He is famous. She is great.	I like my town.	My Summer Vacation	What do you want to watch?	My Best Memory	What do you want to be?	Junior High School Life
	自己紹介	季節・日本の行事	動作・食べ物・身の回りの物・教科	施設・建物・動作	動詞の過去形・自然・状態・気持ち	スポーツ	学校行事	職業	中学校生活

(Hi, Friends! 1 で扱われている文法事項・語彙)

単元	1	2	3	4	5	6	7	8	9
HF1	Hello!	I'm happy.	How many?	I like apples.	What do you like?	What do you want?	What's this?	I study Japanese.	What would you like?
		感情・様子	1～20 数	食べ物・スポーツ・動物	色・形	アルファベット大文字	物の名前	教科名	食べ物

(Hi, Friends! 2 で扱われている文法事項・語彙)

単元	1	2	3	4	5	6	7	8
HF2	Do you have "a"?	When is your birthday?	I can swim.	Turn right.	Let's go to Italy.	What time do you get up?	We are good friends.	What do you want to be?
	アルファベット小文字 100 までの数	月と日付	動作を表す語	建物	国の名前	生活を表す表現 時刻		職業名

(1年)

○表の見方

(上段) 各教科書で扱われている文法事項の配列

(下段) We Can!で学習した主な語彙および文法事項との関連

単元	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
東書	I am You are	This is He is	一般動 詞	複数形	疑問詞 What is What do	3単現	疑問詞 Who is Which	疑問詞 Where 目的格	現在進 行形	can	過去形
		WC1(9) 動作を 表す 語・状 態・気 持ち WC2(3) 食べ 物・身 の回り の物	WC1(1) 食べ物 ・スポ ーツ・ 色 WC2(1) 自己紹 介	WC2(3) 食べ 物・身 の回り の物	WC1(8) 食べ物	WC1(9) 動作を 表す 語・状 態・気 持ち	WC1(9) 動作を 表す 語・状 態・気 持ち WC2(3) 食べ 物・身 の回り の物	WC1(9) 動作を 表す 語・状 態・気 持ち WC2(3) 食べ 物・身 の回り の物	WC1(7) 身の回 りの物	WC1(7) 道案内	WC1(5) 動作を 表わす
開隆堂	1 アルフ アベッ ト	2 I am You are	3 一般動 詞	4 疑問詞 What do 複数形	5 This is He is	6 3単現 のS	7 疑問詞 Who is 目的格	8 can	9 現在進 行形	10 過去形	11 過去形
	WC1(1) アルフ アベッ ト HF1(6) HF2(1)		WC1(1) 食べ物 ・スポ ーツ・ 色 WC2(1) 自己紹 介	WC1(3) 教科 名・曜 日 WC2(3) 食べ 物・身 の回り の物	WC1(4) 時刻 WC1(7) 身の回 りの物 WC2(3) 食べ 物・身 の回り の物	WC1(9) 動作を 表す 語・状 態・気 持ち	WC1(9) 動作を 表す 語・状 態・気 持ち WC2(3) 食べ 物・身 の回り の物	WC1(9) 動作を 表す 語・状 態・気 持ち WC2(3) 食べ 物・身 の回り の物	WC1(5) 動作を 表わす	WC2(5) 動詞の 過去形 ・自然	WC2(5) 動詞の 過去形 ・自然
学図	1 一般動 詞	2 複数形	3 I am You are	4 This is He is 疑問詞	5 3単現 のS	6 疑問詞 Where 目的格	7 疑問詞 When can	8 現在進 行形	9 過去形		
	WC1(1) 食べ物 ・スポ ーツ・ 色	WC2(3) 食べ 物・身 の回り の物	WC2(1) 自己紹 介	WC1(9) 動作を 表す 語・状 態・気 持ち WC2(3) 食べ	WC1(4) 時刻 WC1(9) 動作を 表す 語・状 態・気 持ち	WC1(7) 道案内	WC1(5) 動作を 表わす	WC2(5) 動詞の 過去形 ・自然			

				物・身の回りの物							
三省堂	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
	I am You are	This is He is	一般動詞	複数形	疑問詞 目的格	3単現 のS	can	現在進行形	過去形		
		WC1(3) 教科名・曜日 WC1(4) 時刻	WC1(1) 食べ物・スポーツ WC1(4) 生活を表す語・時刻	WC2(3) 食べ物・身の回りの物		WC1(9) 動作を表す語・状態・気持ち	WC1(5) 動作を表わす		WC2(5) 動詞の過去形・自然 WC2(7) 学校行事		
教出	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
	I am You are	This is 疑問詞 What	一般動詞 複数形	He is 疑問詞 Who	3単現 のS	疑問詞 When Where	can	現在進行形	過去形		
			WC1(1) 食べ物・スポーツ WC1(3) 曜日	WC1(9) 動作を表す語・状態・気持ち	WC1(9) 動作を表す語・状態・気持ち	WC1(4) 時刻 WC1(7) 身の回りの物	WC1(5) 動作を表わす		WC2(5) 動詞の過去形・自然		
光村	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	I am	You are This is	He is 疑問詞 What	一般動詞	疑問詞 Who 複数形	疑問詞	3単現 のS	can	現在進行形	過去形	過去形
				WC1(1) 食べ物・スポーツ の物	WC2(3) 食べ物・身の回りの物	WC1(4) 時刻	WC1(9) 動作を表す語・状態・気持ち	WC1(5) 動作を表わす		WC2(5) 動詞の過去形・自然	

○開隆堂では、Program1に「アルファベット」の学習がある。他の教科書は、巻頭資料の中で扱われている。

○学図は、一般動詞から学習が始まっている。その他の教科書は、I am～.You are～からの学習になっている。

○小学校外国語活動で学習した多くの語彙は、1年生教科書の巻頭資料の中で扱われている。

○光村はLesson7と8の間に、小学校外国語活動で学習した単語がまとめてあるWord Square(6ページ分)がある。食べ物やスポーツ、物の名前、色、日常生活での動作を表わす語など。

2・3年の教科書も同じように Lesson 5, 6 の後に Word Square があり, さまざまなジャンルで単語がまとめている。

(2年)

○表の見方

(上段) 各教科書で扱われている文法事項の配列

(下段) We Can! で学習した主な語彙および文法事項との関連

単元	1	2	3	4	5	6	7	8	9
東書	was were 過去進行 形	be going to 未来 show A B	不定詞	have to 助動詞 will must	接続詞 if when	There is 動名詞	比較 er, est more most		
			WC1(6) 国の名前 WC2(8) 職業名			WC2(4) 町紹介			
開隆堂	1 was were 過去進行 形	2 be going to/will 未来	3 have to must	4 There is 接続詞 if when	5 不定詞	6 動名詞 give A B	7 比較 er, est more most	8 比較 more most	9 受け身
	WC2(5) 動詞の過 去形 ・自然				WC1(6) 国の名前 WC2(8) 職業名	WC1(7) 道案内	WC2(9) 学校行事		WC2(2) 日本文化
学図	1 was were	2 過去進行 形 接続詞 when	3 be going to/will 未来	4 have to must	5 不定詞	6 動名詞 show A B	7 比較 er, est more most	8 比較(副 詞) 接続詞 If	
	WC2(5) 動詞の過 去形 ・自然			WC1(7) 道案内	WC1(6) 国の名前	WC2(8) 職業名			
三省堂	1 過去形	2 was were 過去進行 形 接続詞 when	3 be going to/will 未来	4 There is 動名詞	5 give A B	6 不定詞	7 比較 er, est more most	8 受け身	
	WC2(5) 動詞の過 去形 ・自然		WC1(9) 動作を表 す語・状 態・気持 ち	WC2(2) 日本文化		WC1(6) 国の名前 WC2(8) 職業名			
教出	1	2	3	4	5	6	7	8	

	was were give A B	be going to/will 未来 must	接続詞 if when 過去進行 形	動名詞 There is	不定詞	have to	比較 er, est more most	受け身	
					WC1(6) 国の名前	WC2(8) 職業名			
光村	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	was were	過去進行 形 接続詞 When	be going to/will 未来	There is have to	動名詞 want to be	不定詞 must	比較 er, est	比較 more most give A B	受け身 接続詞 if
				WC2(4) 町紹介 WC1(7) 道案内	WC2(8) 職業名 WC2(5) 動詞の過 去形・自 然	WC2(8) 職業名 WC1(8) 食べ物・ 値段			

○開隆堂の PROGRAM4, 8, 12 は復習としての Reading 教材である。

○学図は, Action!の中で There is や不定詞の一部(副詞的用法)を扱っている。

○三省堂は, Let's Talk2で(接続詞 if), 3(must), 4(have to), 5(May I~), 6(Will you~), 7(too~)を扱っている。

○東書と学図は2年生では受け身を扱っていない。

○どの教科書も be 動詞の過去形から学習が始まり, 過去進行形の学習へとつながっている。

教出だけは, be 動詞の過去形の後, 未来形を学習する。その後, 過去進行形の学習となっている。

(3年)

単元	1	2	3	4	5	6	7
東書	受け身 make A B	現在完了 継続	現在完了 経験/完了 不定詞 副詞用法原因	疑問不定詞 It's for to want A to-	現在分詞/過 去分詞の後置 修飾 間接疑問文	接触節 関係代名詞	
開隆堂	1	2	3	5	6	7	8
	受け身 現在完了 完了	現在完了 継続/経験	It's for to 疑問不定詞 ask A to-	call A B make A B 間接疑問文	現在分詞/過 去分詞の後置 修飾	関係代名詞 主格	関係代名詞 目的格 接触節
学図	1	2	3	4	5	6	7
	call A B 受け身	現在完了 完了	現在完了 継続/完了 It's for to	現在分詞/過 去分詞の後置 修飾 ask A to-	関係代名詞 主格	関係代名詞 目的格 接触節	間接疑問文
三省堂	1	2	3	4	5	6	7

	受け身	現在完了 継続	現在完了 経験/完了	call A B make A B It' s for to	関係代名詞 主格 目的格	現在分詞/過 去分詞の後置 修飾 接触節	want A to- 疑問不定詞 間接疑問文
教出	1	2	3	4	5		
	call A B make A B 受け身	現在完了	It' s for to 疑問不定詞 間接疑問文	現在分詞/過 去分詞の後置 修飾 接触節	関係代名詞		
光村	1	2	3	4	5	6	
	受け身 make A B tell A to-	現在完了 継続/完了	現在完了 経験 It' s for to	現在分詞/過 去分詞の後置 修飾 接触節	関係代名詞 主格/目的格	間接疑問文 call A B 疑問不定詞	

○開隆堂の PROGRAM4, 9 は復習としての Reading 教材である。

○学図は, Action!の中で疑問不定詞を扱っている。

○三省堂は, Let' s Talk1 で(疑問不定詞)を扱っている。

○東書と学図は, 受け身は3年で新出文法。他の教科書は2年で学習しているので復習となる。

【英語】

観点	内容の構成・配列・分量
観点	⑧ 単元・題材などの分量
方法	○ 総語彙数, 題材名, 題材数

発行者	調査・研究内容		
東書	学年 総語彙数		題材
	1 (544)	日常生活・風俗習慣 物語 地理・歴史 伝統文化 その他	Unit 1 出会いの時 Unit 2 校内の案内 Unit 3 自己紹介のスピーチ Unit 4 みんなで過ごす休日 Unit 1 1 一年の見つめ直し Let's Read 奇妙なレストラン Unit 6 オーストラリアでの生活 Unit 7 ブラジル人の生活 Unit 5 世界の食文化 Unit 9 中国の文化 Unit 1 0 海外で出会う日本文化 Unit 8 イギリスの文学
	2 (402)	日常生活・風俗習慣 物語 地理・歴史 伝統文化 自然科学	Unit 1 外国の中学生の学校生活 Unit 3 職場体験と自分の将来の夢 Unit 5 ユニバーサルデザインの実態と意義 Unit 7 映画にえがかれた共生の心 Let's Read 1 大工の贈り物 Let's Read 2 新垣勉 Unit 2 海外旅行での異文化体験 Unit 4 ホームステイでの国際交流体験 Unit 6 世界に広がる伝統芸能「落語」 Let's Read 3 ソーラークッカー
	3 (313)	日常生活・風俗習慣 物語 地理・歴史 伝統文化 自然科学	フェアトレードのしくみと意義 Let's Read 1 広島の子原子爆弾 Let's Read 2 緑色のドア Unit 2 アマゾン川と熱帯雨林の恩恵と環境問題 Unit 6 アウンサーズーチーの半生と信念 Unit 1 日本文化の海外への広まりと自国での深まり Unit 4 災害への備えと未来へ伝える大切さ Unit 5 ロボットの進化と普及の利点と問題点 Let's Read 3 星野道夫
題材数：第1学年（ 12 ）, 第2学年（ 10 ）, 第3学年（ 9 ） 各課の配列：Unit(Starting Out, Dialog, Read and Think 1, 2, Activity 1, 2, Daily Scene) Presentation, Let's Read			

開隆堂	学年 総語彙数		題材
	1 (528)	日常生活・ 風俗習慣 物語 地理・歴史 自然科学 その他	Program 2 あいさつ Program 3 自己紹介, 先生に質問 Program 4 リサイクル活動に参加 Program 8 折り紙 Program 9 年始のあいさつ Program 1 1 おばあちゃんと動物 Program 5 国際フードフェスティバル Program 6 イギリスの旅 Program 1 0 アメリカからの手紙, お土産 Program 7 シャチウオッチング, 写真 Program 1 アルファベットになれよう
	2 (420)	日常生活・風 俗習慣 物語 地理・歴史 伝統文化 その他	Program 1 休日, 体験発表 Program 3 インターネット, チャリティーイベント Program 6 職場体験 Program 9 学校紹介ビデオ Program 1 0 ホームステイの体験談 Program 5 『ガリバー旅行記』の本 Program 1 2 手紙 Program 2 フィンランド, メール Program 8 日本とトルコの友好関係 Program 4 古典落語 Program 1 1 白川郷 Program 7 スピーチ (セヴァン・カリス=スズキ)
	3 (299)	日常生活・風 俗習慣 物語 地理・歴史 伝統文化 自然科学	Program 7 山本敏晴さんのボランティア活動 Program 4 3頭の象 Program 9 マララ・ユスフザイ Program 1 ジャガイモのルーツ, スピーチ原稿 Program 2 日本の名所, 手紙 Program 5 回転寿司の起源, 世界の日本食ブーム Program 6 鳥獣戯画, けん玉 Program 3 5 R, メール Program 8 風力, 太陽エネルギー
題材数: 第1学年 (11), 第2学年 (12), 第3学年 (9) 各課の配列: Program(Basic Dialog, Power-Up), My project, Special Project			
学図	学年 総語彙数		題材
	1 (544)	日常生活・ 風俗習慣	Lesson 1 好きなスポーツ, 食べ物 Lesson 2 好きな動物, テレビ番組 Lesson 3 自己紹介 Lesson 4 東京観光 (スカイツリー, 国技館, せんべい)

			Lesson 5 写真, ALT の家族 Lesson 6 インターネット, 写真, アメリカの中学生 Lesson 8 電話, 天体観測 Reading 1 カード, ALT の一日 Reading 2 点字
		物語 地理・歴史 伝統文化	Reading 3 友達 Lesson 9 手紙, オーストラリア Lesson 7 日本のお正月 (おせち, 書き初め)
	2 (419)	日常生活・風 俗習慣 物語 地理・歴史 伝統文化	Lesson 2 海外と日本のジェスチャー Lesson 3 機内放送, 入国カード, 入国審査 Lesson 5 職場体験, お礼の手紙 Lesson 6 3R (ドイツ, 日本) Reading 1 英語 Reading 2 泣いた赤鬼 Reading 3 マザー・テレサ Lesson 7 世界遺産 (国立公園, 滝, マチュ・ピチュ) Lesson 1 相撲の稽古, ちゃんこ鍋 Lesson 4 イギリス英語, イギリスの生活 Lesson 8 まんが, アニメ, 日本映画, メール
	3 (293)	日常生活・風 俗習慣 物語 地理・歴史 伝統文化 自然科学	Lesson 2 部活動 Lesson 6 ことば Lesson 7 アンネ・フランクの日記 Reading 2 グースのワンシーン Lesson 4 国際協力に貢献した日本人 Lesson 5 スティービン・ワンダー Lesson 1 英語新聞, 日本の世界遺産 (法隆寺) Lesson 3 Eメール, アラスカとインドの生活 Reading 1 エネルギー
<p>題材数 : 第1学年 (12), 第2学年 (11), 第3学年 (9)</p> <p>各課の配列 : Lesson, まとめ, Word Tree, Action!, Talking Time, Project, Let's Read</p>			
三省堂	学年 総語彙数		題材
	1 (572)	日常生活・ 風俗習慣 物語 地理・歴史	Lesson 1 あいさつ, 自己紹介 Lesson 2 校内の案内, 人の紹介 Lesson 3 好きなもの・こと Lesson 4 校外学習 (野鳥, 自然, 植物) Lesson 5 インドからの転校生 Lesson 7 車いすバスケットボール Lesson 8 メール, アメリカの学校生活 Lesson 9 日本の四季 Let's Read アリスとハンプティダンプティ Lesson 6 イギリスの文化

	2 (390)	日常生活・風俗習慣 物語 地理・歴史 伝統文化 自然科学	Lesson 6 職場体験, 将来の夢のスピーチ原稿 Lesson 7 インターネット上の投稿記事, プレゼンテーション原稿 Lesson 2 ピーターラビットの本 Let's Read1 壺の中の毒 Let's Read2 地雷とアキラ Lesson 5 ガイドブックのコラム (オーストラリア) Lesson 8 インドの生活, 歴史 Lesson 1 絵日記, ハワイでの春休み Lesson 4 ウェブサイト, すし Lesson 3 ポスター, パンフレット, 自然環境, 世界遺産
	3 (270)	日常生活・風俗習慣 物語 地理・歴史 伝統文化 自然科学 その他	Lesson 5 スピーチ原稿 (行きたい場所) Let's Read1 アメリカの映画 Let's Read3 錦織圭 Lesson 4 広島, 佐々木貞子 Lesson 6 写真, 雑誌の特集にあるキング牧師 Lesson 2 フランスからのゲスト, ウェブサイト Lesson 3 英語落語 Let's Read2 ウィリアム・カムクワンバ Lesson 1 スピーチ原稿 (好きなことば) Lesson 7 テレビ番組, 新聞記事
<p>題材数: 第1学年 (10), 第2学年 (10), 第3学年 (10)</p> <p>各課の配列: Lesson (Get, Use Read, Use Speak/Write, 文法のまとめ) Project, Let's Listen, Let's Talk, Let's Read</p>			
教出	学年 総語彙数		題材
	1 (649)	日常生活・風俗習慣	Lesson 1 あいさつ, 自己紹介 Lesson 2 人の紹介, ものの紹介 Lesson 3 自己紹介カード, 好きなもの・こと Lesson 4 オーストラリアの家族 Lesson 5 中華街 Lesson 6 ネット, 日本と海外の学校生活
		物語	Reading Lesson 失くしたボタン
		伝統文化	Lesson 7 鉄腕アトム, まんが, お弁当
		自然科学	Lesson 8 ビデオレター, 国際電話, ネット, アメリカ Lesson 9 メール, 手紙, オーストラリア
	2 (504)	日常生活・風俗習慣	Lesson 3 パンフレット, 盲導犬 Lesson 4 しまなみ海道, 愛媛旅行 Lesson 6 職業体験 Lesson 7 ブログ, 世界の中学生
	物語	Reading Lesson 1 短編小説	

		伝統文化	Lesson 1 沖縄旅行 Lesson 5 ハロウィーンパーティ Reading Lesson 2 手塚治虫のまんが
		自然科学	Lesson 2 ロボット Lesson 8 水問題
	3 (346)	日常生活・ 風俗習慣 物語 地理・歴史 伝統文化 自然科学 その他	Lesson 4 ニュース, CM, インターネットの掲示板 Lesson 6 ウェブサイト, 働くこと Reading Lesson 1 アンネ・フランクの日記 Lesson 1 イギリス, ホームステイ Lesson 2 日本, 京料理 Lesson 3 日本, 落語 Reading Lesson 2 阪神・淡路大震災 Lesson 5 佐藤真海, 福原愛, 高梨沙羅, インターネットの記事
題材数: 第1学年 (10), 第2学年 (10), 第3学年 (8) 各課の配列: Lesson(Hop, Step, Jump) Project, Reading Lesson			
光村	学年 総語彙数		題材
	1 (468)	日常生活・風 俗習慣 物語 伝統文化 その他	Unit 1 自己紹介 Unit 2 相手に質問 Unit 3 学校案内 Unit 4 好きなこと Unit 6 海外での朝, 朝食 Unit 7 体調の変化 Unit 8 バンドの練習 Unit 9 学校生活 Let's Read2 ライオンとねずみ Unit 5 お祭り Unit 10 メール, 年越しそば, 初詣 Unit 11 学校新聞, すし, 書き初め Let's Read1 「私は何?」のクイズ
	2 (417)	日常生活・風 俗習慣 物語 伝統文化 自然科学	Unit 1 ニューヨークでの生活 Unit 2 日記, 犬 Unit 3 夏休みの計画 Unit 4 ニューヨークのまち (セントラルパーク) Unit 6 介助犬 Unit 7 リハーサル中のけんか Unit 8 クリスマスコンサート Unit 9 空港での別れ Let's Read1 手紙 Unit 5 沖縄の生活 (海, 平和記念公園, 三線) Let's Read3 竹の利用 Let's Read2 ロボットとの暮らし

	3 (315)	日常生活・ 風俗習慣 物語 地理・歴史 伝統文化 自然科学 その他	Unit 1 韓国の生活, ビデオレター Unit 5 将来の夢 Unit 7 最後のコンサート Let's Read2 杉原千畝 Unit 4 カンボジアの生活 Unit 2 海外の人から見た日本, インタビュー Unit 3 修学旅行, 京都 (清水寺, 座禅) Unit 6 ウェブサイト, 環境を守る取組 Let's Read4 セヴァンさんのスピーチ (世界の環境) Let's Read1 宝探し Let's Read3 英語のリズム
	題材数 : 第1学年 (13), 第2学年 (12), 第3学年 (11) 各課の配列 : Unit (Part1, 2, 3, You can do it!) Go for it!, Let's Read		

【英語】

観点	内容の表現・表記
視点	⑨ 基本的な音声に関する学習内容の工夫
方法	○ 音声の指導の扱い及び表記

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(1年) 語の強勢は▼のマークで、文の強勢は●の大きさを示している。単元4までは各パートの基本練習の場面で、マーク付きの英文を見ながら発音練習ができる。「まとめと練習」内の Sound Box で3回、学び方コーナーで2回音声について扱っている。巻末の Word List は、発音記号が示されている。</p> <p>(2年) 語や文に強勢マークはなくなり、代わりに語に発音記号が併記されている。各課の後半の Activity 1 で Sound Box が登場する (聞き取りの活動)。その他のページで音声を取り上げることはない。巻末の Word List は、1年と同様である。</p> <p>(3年) ほぼ2年生の内容と同じであるが、音声を扱う Sound Box は各課の後半 Activity 1 (聞き取りの活動) に登場する。</p>
開隆堂	<p>(1年) 語の強勢は▼のマークで、文の強勢は●の大きさを示している。その他の音声に関するポイント (抑揚、音のつながり等) はページの下部に表記されている。つづり字と発音の関係や英語の音声の特徴を解説する「発音クリニック」が不定期で3回登場する。巻末の「単語と熟語」は、発音記号が併記されている。</p> <p>(2年) 語に強勢マークはなくなり、代わりに発音記号が併記されている。発音に注意すべき単語がページの下部に表記され、わずかながら音声に関するポイントも示されている。つづり字と発音の関係や英語の音声の特徴を解説する「発音クリニック」は、主に「英語のしくみ」のページに掲載されており、計5回ある。巻末の「単語と熟語」には発音記号が示されていない。</p> <p>(3年) ほぼ2年生の内容と同じである。ページ下部の表記は、ほとんどが注意すべき単語であるが、文の強勢や音声に関するポイントも表記されている。「発音クリニック」は6回である。巻末の「単語と熟語」には発音記号が併記されていない。また、「英語のつづり字と発音」について2ページにまとめられている。</p>
学図	<p>(1年) 語の強勢は▼のマークで、文の強勢は●の大きさを示されている。「Listen & Repeat」のコーナーで、語のつながりを「」で示している。Book 全般にわたってページの下部につづりと発音の関係 (発音記号) の表記があり、付録にはその一覧が掲載されている。巻末のミニ辞典コーナーは、発音記号が示されている。「つづりと発音」が1ページ掲載されている。巻末のミニ辞典コーナーは、発音記号が示されている。</p> <p>(2年) 語に強勢マークはなくなり、代わりに発音記号が併記されている。その他については1年と同様である。</p> <p>(3年) 2年生と同様である。付録には、「つづりと発音」が2ページ掲載されている。</p>
三省堂	<p>(1年) 語の強勢は▼のマークで示され、文の強勢、抑揚、音のつながり等は●マーク、矢印等でページの下部に表記されている。「発音とつづり」のページで Phonics を、付録の「つづりと発音」で母音に関わる音声を扱っている。</p>

	<p>「Sounds」というコーナーでは、「発音とつづり」6回、「英語らしい音」6回を扱っている。巻末の「単語の意味」は、発音記号で示しており、カタカナ表記はない。</p> <p>(2年) 語に強勢マークはなくなり、代わりに発音記号が併記されている。音声に関わるポイント(注意すべき発音、抑揚、音のつながり等)がページの下部に表記されている。「Sounds」というコーナーでは、「発音とつづり」6回、「英語らしい音」6回を扱っている。付録の「つづりと発音」で子音に関する音声を扱っている。巻末の「単語の意味」は、1年と同様である。</p> <p>(3年) 2年生とほぼ同様である。「Sounds」というコーナーでは、「発音とつづり」6回、「英語らしい音」6回を扱っている。音声を扱う付録はない。</p>
<p>教出</p>	<p>(1年) 語の強勢は▼のマークで示され、文の強勢、抑揚、音のつながり等は●マーク、矢印等で、★のマークで注意すべき発音をまとめてページの下部に表記されている。Book全般に渡ってページの下部につづりと発音の関係(発音記号)の表記があり、折込みにはその一覧が掲載されている。巻末のWord Listは、発音記号が示されている。</p> <p>(2年) 語に強勢マークはなくなり、代わりに発音記号が併記されている。ページ下部に音声に関する解説が表記されているが、分量は少ない。Book全般に渡ってページの下部につづりと発音の関係(発音記号)の表記がある。巻末のWord Listには発音記号がない。</p> <p>(3年) 2年とほぼ同様だが、ページ下部の音声に関する解説の分量が増えている。巻末のWord Listは2年と同様である。</p>
<p>光村</p>	<p>(1年) 語の強勢は▼のマークで示され、「Sound」コーナーには、注意すべき語はNew Wordsの下に発音記号を併記して改めて示される。文の強勢、抑揚、つながり等は●マーク、矢印等でページ下に解説がある。各課のTry It!内にSoundコーナーが3回設けられている。「Sound Focus」(2回)と「Your Coach」(1回)で音声を扱っている。「音声のまとめ」を2回ページで扱っている。巻末のWord Listは、発音記号が示されている。</p> <p>(2年) 語に強勢マークはなく、代わりに発音記号が併記されている。注意すべき語の扱いと文の強勢、抑揚、つながり等は1年と同様である。Sound Focus(1回)で音声を扱っている。巻末のWord Listは、1年と同様である。「音声のまとめ」を1ページ扱っている。</p> <p>(3年) 2年生とほぼ同様である。音声のみを扱うページはない。</p> <p>「Sound コーナー」 1年生 54個, 2年生 52個, 3年生 40個</p>

【英語】

観点	内容の表現・表記
視点	⑩ 巻頭・巻末資料の工夫
方法	○ 巻頭・巻末資料の扱い及び表記

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【巻頭】 (1年)「出会う」というテーマで、11か国の言葉であいさつがある。主な登場人物が紹介されている。 (2年)「広げる」というテーマで、各単元のタイトルが写真付きで紹介されている。 (3年)「見つめ直す」というテーマで、各単元のタイトルが写真付きで紹介されている。</p> <p>【巻末】 (1年) 資料編として、「①アルファベットの書き方 (筆記体)」、「②Word List」 「③ Bonus Word Box (教室にあるもの、教科名、校内の施設・設備、学校行事、一日の生活、部活動、体、果物・野菜、食べ物の単語)」「④手紙・はがきの書き方」「⑤英語の音とつづり (基本的な発音を覚えよう、異なる発音のしかたを覚えよう、基本的なルールを覚えよう)」「⑥基本文・基本表現一覧」がある。また、ヘボン式の書き方や「Word Room (家族、数字、週、月日、色)」がある。 (2年) 資料編として、「①Word List」 「②Bonus Word Box (将来の夢、ジェスチャー、場所、好きなこと、対で覚える形容詞、衣服の単語)」「③形容詞・副詞比較変化表」「④不規則動詞変化表」「⑤2年基本文・Basic Expression 一覧 (Unit 基本文, Daily Scene)」「⑥1・2年表現のまとめ」「⑦名作鑑賞」がある。また、「さまざまなコミュニケーション (手話、点字、パラリンピック)」を扱っている。「Word Room (場所を表わす前置詞、時を表わす前置詞、その他の前置詞)」がある。 (3年) 資料編として、「①Word List」 「②Bonus Word Box (日本の祝日、日本の年中行事、日本の風物、修学旅行、目標・抱負をあらわす単語)」「③数の読み方」「④形容詞・副詞比較変化表」「⑤不規則動詞変化表」「⑥3年基本文・Basic Expression 一覧 (Unit 基本文, Daily Scene)」「⑦1～3年表現のまとめ」「⑧1～3年基本文一覧」「⑨名作鑑賞」「⑩Further Reading (2編)」がある。「Word Room (身近な場面で使える語 (句) をジャンル別に掲載してある)」がある。</p>
開隆堂	<p>【巻頭】 (1年) 各単元で学習するテーマが写真付きで紹介されている。教科書に出てくる主な登場人物が紹介されている。 (2年) 各単元で学習するテーマが写真付きで紹介されている。教科書に出てくる主な登場人物が紹介されている。 (3年) 各単元で学習するテーマが写真付きで紹介されている。教科書に出てくる主な登場人物が紹介されている。</p> <p>【巻末】 (1年) 「①Basic Dialog のまとめ」「②動詞を使った基本的な表現」「③英語の書体 (筆記体)」「④ヘボン式ローマ字」「⑤英語の音」「⑥英語のつづり字と発音」</p>

	<p>「⑦英語の歌（４曲）」「⑧単語と熟語（単元ごと）」「⑨単語と熟語（アルファベット順）」がある。「⑩アクションカード（切り取りができるような動詞の絵カード）」「⑪教科・文房具」「⑫部活動」「⑬朝起きてから寝るまで」の語がある。また、付録として「英語で『できるようになったこと』リスト」（とじ込み）があり、４技能ごとに中学校卒業までにできるようになることがまとめてある。できるようになったことに○を付け日付を書くようになっている。</p> <p>（２年）「Extensive Reading（発展的な読み物１編）」がある。巻末資料として「①Basic Dialog のまとめ」「②クイックＱ＆Ａ（ペアで早く答える活動）」「③英語の音声」「④英語のつづり字と発音」「⑤短縮形のまとめ」「⑥数の言い方」「⑦英語の歌（３曲）」「⑧単語と熟語（アルファベット順）」「⑨不規則動詞活用表」「⑩学校の内外」「⑪いろいろな職業」「⑫いろいろな前置詞」「⑬感情や状態を表わす形容詞」「⑭日本の祝日・学校行事」「⑮町を案内しよう。」があり多くの語句が紹介されている。また、付録として「英語で『できるようになったこと』リスト」（とじ込み）があり、４技能ごとに中学校卒業までにできるようになることがまとめてある。できるようになったことに○を付け日付を書くようになっている。</p> <p>（３年）「Extensive Reading（発展的な読み物３編）」がある。巻末資料として「①Basic Dialog のまとめ」「②英語で料理（広島風お好み焼きの作り方の説明文に適する語を入れる。）」「③クイックＱ＆Ａ（ペアで早く答える活動）」「④英語のつづり字と発音」「⑤符号の使い方」「⑥英語の歌（３曲）」「⑦単語と熟語（アルファベット順）」「⑧不規則動詞活用表」「⑨部活動」「⑩いろいろな職業」がある。また、付録として「英語で『できるようになったこと』リスト」（とじ込み）があり、４技能ごとに中学校卒業までにできるようになることがまとめてある。できるようになったことに○を付け日付を書くようになっている。</p>
学図	<p>【巻頭】</p> <p>（１年）「世界の国からこんにちは（世界の国１０か国の言葉で『こんにちは』が紹介されている）」単元に関する写真や、「教室でよく使う英語」「こんなときはこう言おう」がある。登場人物の紹介がある。</p> <p>（２年）「起きてから寝るまで（動作を表わす英語表現）」や、単元に関する写真がある。</p> <p>（３年）「こんな場面で伝えたい一言①（日常生活で相手に伝えたい英語表現）」や、単元に関する写真がある。</p> <p>【巻末】</p> <p>（１年）付録として、「英語の歌（３曲）」（巻末でない）「つづりと発音」「More Words（食べもの、ペット、テレビ番組、部活動、教科、学校、学校行事などの単語）」「目標文のまとめ（日本語訳なし）」がある。「ミニ辞典コーナー（語彙リスト）」「へボン式ローマ字」「Nice to Meet You.（各国の子どもの自己紹介や友達紹介）」がある。</p> <p>（２年）付録として、「英語の歌（３曲）」（巻末でない）「More Words（職業、感情、性格などの単語）」「つづりと発音」「不規則動詞変化」「形容詞・副詞の変化」「目標文のまとめ（１・２年生、日本語なし）」「ミニ辞典コーナー（語彙リスト）」「色と形」「ジェスチャー（アメリカと日本の違い）」がある。</p>

	<p>(3年) 付録として、「英語の歌 (3曲)」（巻末でない）「More Words (位置, 体, 五感, 身に付けるものなどの単語)」「つづりと発音」「不規則動詞変化表」「形容詞・副詞の変化表」「基本単語のまとめ (季節, 月, 曜日, 数字と序数などの単語)」「目標文のまとめ (1・2・3年生, 日本語なし)」「ミニ辞典コーナー (語彙リスト)」「説明しよう日本のこと (日本の行事や習慣を英語で説明してある)」「こんな場面で伝えたい一言②」がある。</p>
三省堂	<p>【巻頭】</p> <p>(1年) 「ことば」というテーマで, 各国の言葉で「ありがとう」が紹介されている。主な登場人物が紹介されている。</p> <p>(2年) 「学び」というテーマで, 各国の衣食住が紹介されている。主な登場人物が紹介されている。</p> <p>(3年) 「かかわり」というテーマで, 日本の文化や外国の文化が紹介されている。主な登場人物が紹介されている。</p> <p>【巻末】</p> <p>(1年) 「Let's Play SUGOROKU! (すごろくで止まったますの質問に答えるゲーム)」「Further Reading (発展的な読み物2編)」「英語の歌 (3曲)」「つづりと発音【母音】」「早口ことば」「英語の文字」「英語の筆記体」「ローマ字表」「絵でわかる英語のしくみ (語順, 冠詞, 代名詞, たずね方と答え方)」「基本文のまとめ」「いろいろな単語 (様々なジャンルで分類されている)」「単語の意味」「CAN-DOリスト (4技能で分類)」「マザーグース (3編)」がある。</p> <p>(2年) 「Further Reading (発展的な読み物3編)」「英語の歌 (3曲)」「つづりと発音【子音】」「絵でわかる英語のしくみ (動詞と目的語, 品詞, 情報の流れ, 前置詞)」「基本文のまとめ (Book1で学習した基本文〔日本語訳なし〕も掲載されている)」「数の表現と数字の読み方」「いろいろな符号」「いろいろな単語 (様々なジャンルで分類されている)」「会話表現」「不規則動詞活用表」「早口ことば」「形容詞・副詞比較変化表」「単語の意味」「CAN-DOリスト (4技能で分類)」「English in Daily Life (英語の標識)」がある。</p> <p>(3年) 「Further Reading (発展的な読み物3編)」「英語の歌 (3曲)」「絵でわかる英語のしくみ (文の形, 日本語と英語の違い)」「基本文のまとめ (Book1, 2で学習した基本文〔日本語訳なし〕も掲載されている)」「いろいろな単語 (様々なジャンルで分類されている)」「会話表現」「形容詞・副詞比較変化表」「不規則動詞活用表」「早口ことば」「単語の意味」「CAN-DOリスト (4技能で分類)」「Words to Remember (有名なことば)」がある。</p>
教出	<p>【巻頭】</p> <p>(1年) 登場人物の紹介や, 世界の様々な場所の写真を掲載している。教科書での学習の流れが示されている。</p> <p>(2年) 登場人物の紹介や, 世界の様々な場所の写真を掲載している。教科書での学習の流れが示されている。</p> <p>(3年) 登場人物の紹介や, 世界の様々な場所の写真を掲載している。教科書での学習の流れが示されている。</p> <p>【巻末】</p> <p>(1年) 「辞書についていっしょに学ぼう!」「Sing Along! (英語の歌2曲)」「重要構文復習リスト (各基本文の下に日本語訳がついている)」「Word List」「Can-Doリスト (自己チェックリスト, 1年2年3年学習到達目標が書かれ</p>

	<p>ている)「ローマ字表」「キーボード」「ブロック体・筆記体」「つづりと発音【母音】【子音]」「Words & Words (学校生活, 食べ物・飲み物, 部活動に関する単語)」がある。Essentials という別冊がついている。</p> <p>(2年)「辞書についていっしょに学ぼう!」「Optional Reading (発展的な読み物2編)」「Sing Along! (英語の歌2曲)」「重要構文復習リスト (1年基本文も載っている。各基本文の下に日本語訳がついている。))」「Word List」「形容詞・副詞比較変化表」「不規則動詞変化表」「Can-Doリスト (自己チェックリスト, 1年2年3年学習到達目標が書かれている)」「Useful Expressions (病院で, 日常生活で使える英語表現)」がある。Essentials という別冊がついている。</p> <p>(3年)「辞書についていっしょに学ぼう!」「Optional Reading (発展的な読み物4編)」「Sing Along! (英語の歌2曲)」「重要構文復習リスト (1, 2年基本文も載っている。各基本文の下に日本語訳がついている。))」「Word List」「形容詞・副詞比較変化表」「不規則動詞変化表」「Can-Doリスト (自己チェックリスト, 1年2年3年学習到達目標が書かれている)」「日本文化を英語で説明しよう (日本の年中行事, 日本の文化・風物について英語で説明してある)」Essentials という別冊がついている。</p>
光村	<p>【巻頭】</p> <p>(1年)「新しい世界へようこそ。」というテーマで, 学習することで何ができるようになるか紹介している。ローマ字表がある。</p> <p>(2年)「伝えよう。理解しよう。」というテーマで, 学習することで何ができるようになるか紹介している。</p> <p>(3年)「世界とつながる。世界へ飛び立つ。」というテーマで, 学習することで何ができるようになるか紹介している。</p> <p>【巻末】</p> <p>(1年)「Let's Read More (発展的な読み物1編)」「英語の歌 (3曲)」「Try It! (ペアでする活動が4つ紹介されている)」「英語のしくみ (語順, 動詞, 名詞, 冠詞, 人称代名詞)」「音声のまとめ (つづりと発音, 発音のポイント)」「Word List」「基本文一覧」「アルファベット (筆記体)」「こんな時どういふの (場面を設定して使われる英会話表現をあげている。)」がある。</p> <p>(2年)「Let's Read More (発展的な読み物1編)」「Try It! (ペアでする活動が2つ紹介されている。数字の読み方, 短縮形のまとめがある。))」「英語のしくみ (英語の文の形, 形容詞, 副詞, 前置詞)」「不規則動詞活用表, 形容詞副詞の変化表」「音声のまとめ (つづりと発音, 音の変化)」「Word List」「基本文一覧 (1年生の基本文もある)」「Classroom English」「こんな時どういふの (場面を設定して使われる英会話表現をあげている。)」がある。</p> <p>(3年)「Let's Read More (発展的な読み物4編)」「英語の歌 (2曲)」「Try It! (ペアでする活動が4つ紹介されている)」「符号の使い方」「英語のしくみ (英語の『時』の表し方, 受け身の文, 英単語の成り立ち)」「不規則動詞活用表」「基本のまとめ (人称代名詞, 冠詞, 複数形の作り方, 形容詞・副詞の変化)」「Word List」「基本文一覧 (1, 2年生の基本文もある)」「Classroom English」「こんな時どういふの (場面を設定して使われる英会話表現をあげている。)」がある。</p>

【英語】

観点	言語活動の充実
視点	⑪ 効果的な授業展開のための工夫
方法	○ ペアワーク, グループワーク等の扱い及び数

発行者	調査・研究内容
東書	<p>【ドリル的な活動】基本練習, Speak, Write, Activity</p> <p>(1年) ペアワークは33の活動(ペアでの基本練習は18), グループワークは1つの活動が設定されている。ペアワークの内容はSpeak&Writeで各パートの基本文を使って例にならって対話をし, 話した英文を書く活動と, Daily Sceneで設定された場面のモデル対話練習と役割を決めたロールプレイを行う活動となっている。グループワークの内容は3人グループで友達を紹介し合う活動となっている。</p> <p>(2年) ペアワークは10の活動, グループワークは2つの活動が設定されている。ペアワークの内容はSpeakで各パートの基本文を使って例にならって対話をし, Writeで友達に聞いて分かったことを英文で書く活動, 自分の意見を書いてペアに話す活動, Activityでのインタビュー活動や選んだ絵を英語で説明し合う活動, Daily Sceneで設定された場面のモデル対話練習と役割を決めたロールプレイを行う活動となっている。グループワークの内容は, 家での決まりごとや買いたい物についてインタビューし, その結果を発表し合う活動となっている。</p> <p>(3年) ペアワークは16の活動(ペアでの基本練習は4), グループワークは1つの活動が設定されている。ペアワークの内容はSpeakで各パートの基本文を使って例にならって対話をし, Writeで対話を参考にして自分や身の回りのことについて書く活動, ペアでクイズを出し合う活動, Activityでのインタビュー活動, Daily Sceneで設定された場面のモデル対話練習と役割を決めたロールプレイを行う活動となっている。グループワークの内容は, Activityで自分の意見を発表し合い議論する活動となっている。</p> <p>【プロジェクト的な活動】Presentation</p> <p>(1年) 3つの活動が設定されている。内容は, 自己紹介, 一日の生活, 思い出の行事について3文以上の英文を書き, 発表したり質問し合ったりする活動となっている。</p> <p>(2年) 3つの活動が設定されている。内容は, 将来の夢, 町の紹介, 好きなことについて4文以上の英文を書き, 発表したり質問し合ったりする活動となっている。</p> <p>(3年) 3つの活動が設定されている。内容は, 日本文化紹介, 修学旅行, 中学校生活について5文以上の英文を書き, 発表したり質問し合ったりする活動となっている。</p>
開隆堂	<p>【ドリル的な活動】Speak, Try</p> <p>(1年) ペアワークは30の活動(ペアでのSpeakは18), グループワークは3つの活動が設定されている。ペアワークの内容は, Tryでの各パートの基本文を使ったペア対話とPower-Up Speakingでの場面に応じたロールプレイ, スキット作りとなっている。グループワークの内容は, 紙芝居発表「紙芝居にチャレンジ」となっている。</p>

	<p>(2年) ペアワークは28の活動(ペアでの Speak は13), グループワークは1つの活動が設定されている。ペアワークの内容は, Try での各パートの基本文を使ったペア対話と Power-Up Speaking での場面に応じたロールプレイ, スキット作りとなっている。グループワークの内容は, POWER-UP Writing & Speaking で与えられたテーマに対してグループ内で賛成や反対意見を考えて発表する活動となっている。</p> <p>(3年) ペアワークは21の活動(ペアでの Speak は4), グループワークは3つの活動が設定されている。ペアワークの内容は, Try での各パートの基本文を使ったペア対話と Power-Up Speaking での場面に応じたロールプレイ, スキット作りとなっている。グループワークの内容は, POWER-UP Writing で学校を紹介する英文を書く活動, PROGRAM 8 においてグループ内で1番よい発電方法について考え, 発表する活動, PROGRAM 9 においてマララさんの意見についての自分の考えを交流する活動となっている。</p> <p>【プロジェクト的な活動】 My Project</p> <p>(1年) 3つの活動が設定されている。内容としては自分のことを話す, 人物紹介, 知りたい情報を引き出す, となっており, テーマにそった英文を作成し, ペアやグループでアドバイスし合ったり発表し合ったりする活動となっている。</p> <p>(2年) 3つの活動が設定されている。内容としてはスキット作りを楽しむ, スピーチ, CM 作成となっており, テーマにそった英文を作成し, ペアやグループでアドバイスし合ったり発表し合ったりする活動となっている。</p> <p>(3年) 3つの活動が設定されている。内容としては人物にインタビュー, 日本文化紹介, 卒業に向けてとなっており, テーマにそった英文を作成し, ペアやグループでアドバイスし合ったり発表し合ったりする活動となっている。</p>
学図	<p>【ドリル的な活動】 Speaking, Writing</p> <p>(1年) ペアワークは31の活動, グループワークは2つの活動が設定されている。ペアワークの内容は Speaking での各パートの基本文を使ったペア対話とインタビュー, グループワークはグループ内での自己紹介, グループ内の話し手のできることできないことを推測する活動となっている。</p> <p>(2年) ペアワークは27の活動, グループワークは3つの活動が設定されている。ペアワークの内容は Speaking での各パートの基本文を使ったペア対話とインタビュー, グループワークではグループ内でのスピーチ, インタビュー報告を行う活動となっている。</p> <p>(3年) ペアワークは26の活動, グループワークは3つの活動が設定されている。ペアワークの内容は Speaking での各パートの基本文を使ったペア対話とインタビュー, グループワークではグループ内で自分の持ち物を紹介する活動, 絵について説明し合う活動となっている。</p> <p>【プロジェクト的な活動】 Project</p> <p>(1年) 5つの活動が設定されている。内容は自己紹介, 人物紹介, 写真の説明, Show & Tell 等, テーマに沿った英文を書き, それをグループ内で発表, 質問し合う活動となっている。</p> <p>(2年) 5つの活動が設定されている。内容は将来の夢や私の宝物等, テーマに沿った英文を書き, それをグループ内で発表, 質問し合う活動となっている。</p> <p>(3年) 5つの活動が設定されている。内容は日本の伝統文化紹介やインタビューを</p>

	<p>しよう等、テーマに沿った英文を書き、グループ内で発表、質問し合ったり、インタビュー結果をまとめたりする活動となっている。</p>
三省堂	<p>【ドリル的な活動】 話してみよう、書いてみよう、Speak, Write (1年) ペアワークは29の活動が設定されている。内容はSpeak (Lesson3までは「話してみよう」)で各パートの基本文を使ってペアで対話をし、話した内容(質問や答え)を書く活動となっている。 (2年) ペアワークは26の活動、グループワークは5つの活動が設定されている。ペアワークの内容は、Speakで各パートの基本文を使ってペアで対話をし、Writeでその内容を書く活動、Let's Talkでのスキット作りになっている。グループワークでは、USE Writeで「地球のためにできること」「好きな国についてのエッセイ」等グループで協力してテーマにそった情報を集め、英文を書く練習をするという内容になっている。 (3年) ペアワークは21の活動、グループワークは3つの活動が設定されている。ペアワークの内容は、Speakで各パートの基本文を使ってペアで対話をし、Writeでその内容を書く活動、Let's Talkでのスキット作りになっている。グループワークでは、USE Writeで「自己紹介カード作成」「尊敬する人物」等グループで協力してテーマにそった情報を集め、英文を書く練習をしたり、USE Speakで「行きたい場所」についてグループで調べてスピーチをしたりする活動となっている。</p> <p>【プロジェクト的な活動】 Project (Listen, Write, Think, Speak) (1年) 3つの活動が設定されている。内容は自己紹介、友達にインタビュー、大切なものの紹介となっており、聞く、話す、書くを統合した活動となっている。 (2年) 3つの活動が設定されている。内容は有名人の紹介、自分の夢の紹介、自分の町の紹介となっており、聞く、話す、書くを統合した活動となっている。 (3年) 3つの活動が設定されている。内容は先生にインタビュー、日本文化紹介、ディスカッションとなっており、聞く、話す、書くを統合した活動となっている。</p> <p>【使用実績に関すること】 自己表現活動のテーマが、オーセンティックであり、学校生活等とつなげて行いやすかった。(例：中3のLesson1 “My Favorite Words” で今年の目標をスピーチさせるなど)</p>
教出	<p>【ドリル的な活動】 Speak, Write (1年) ペアワークは26の活動が設定されている。内容はSpeakで各パートの基本文を使って例にならってペアで対話をし、Writeでその活動を参考にして英文を書く活動となっている。またJump Taskでは、対話をしながらペアで絵や人物を当てるクイズ、インタビューをして結果を書き入れて表を完成させる活動となっている。 (2年) ペアワークは20の活動が設定されている。内容はSpeakで各パートの基本文を使って例にならってペアで対話をし、Writeでその活動を参考に、分かったことや身近なことを書く活動となっている。またJump Taskでは、例にならったペア対話やインタビューを行い、結果を書き入れて表を完成させる活動となっている。 (3年) ペアワークは7つの活動が設定されている。内容はSpeakで各パートの基本文を使って例にならってペアで対話をし、Writeでその内容を書く活動とな</p>

	<p>っている。また Jump Task では、例にならったペア対話やインタビューを行い、結果を書き入れて表を完成させる活動となっている。</p> <p>【プロジェクト的な活動】 Jump Project (Speak, Write, Listen, Read)</p> <p>(1年) 3つの活動が設定されている。内容は自己紹介、友達紹介で作成した英文を発表して質問し合ったり、好きなマンガやアニメの発表ではグループでテーマを決めてクラスで調査した結果を発表したりする活動となっている。</p> <p>(2年) 2つの活動が設定されている。内容は自分の夢についてのスピーチを行い、感想を言い合う活動、グループでアンケート調査を行い、ポスター発表を行う活動となっている。</p> <p>(3年) 2つの活動が設定されている。内容はグループで町のガイドブックを作成する活動、卒業スピーチを行って感想を述べる活動となっている。</p>
光村	<p>【ドリル的な活動】 speak, write</p> <p>(1年) ペアワークは30の活動が設定されている。内容は各パートの基本文を使ったペア会話、インタビュー、スキット等である。</p> <p>(2年) ペアワークは30の活動、グループワークは2つの活動が設定されている。ペアワークの内容は各パートの基本文を使ったペア会話、インタビュー、スキット等である。グループワークの内容は、偉人(歴史)や世界の気候(地理)について英語で説明できるようグループで活動するという内容になっている。</p> <p>(3年) ペアワークは20の活動、グループワークは3つの活動が設定されている。ペアワークの内容は各パートの基本文を使ったペア会話、インタビュー、スキット等である。グループワークの内容は、スポーツ(保健体育)、情報通信社会(公民・理科)に関する内容について英語で説明できるようグループで活動するという内容になっている。</p> <p>【プロジェクト的な活動】 Go for It</p> <p>(1年) 3つの活動が設定されている。内容は自己紹介や人物紹介、ALT新聞作成で、テーマに沿って書いた英文をペアで発表練習し、アドバイスし合う活動となっている。</p> <p>(2年) 3つの活動が設定されている。内容は旅のしおり作成、職場体験報告で、テーマに沿った英文を書き、それをペアでアドバイスし合ったり、町の紹介ではグループ内で役割分担し、グループ発表を行ったりするという活動となっている。</p> <p>(3年) 2つの活動が設定されている。内容は修学旅行新聞作成、給食と弁当のどちらがいいか、卒業文集作成で、テーマに沿った英文を書き、ペアでアドバイスし合ったり、グループ内で意見を交換し合ったり、感想を伝えたりする活動となっている。</p>

【英語】

観点	言語活動の充実
視点	⑫ 4領域の言語活動のバランス
方法	○ 「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」言語活動の配列やバランス

発行者	調査・研究内容					
東書	<p>(1年) Unitの構成は、本文を「読む」活動から「聞く」「話す・書く」につながり、「聞く」では、話のポイントを聞き取る選択形式の活動が設定されている。Unit 5以降の小単元Daily Sceneでは、テーマに沿って主に「話す」「書く」に重点を置いたコミュニケーション活動が設定されている。また、いくつかのUnitが終了すると、既習事項を活用する自己表現活動としてPresentationが全3回設定されている。</p> <p>(2年) Unitの構成は、「聞く」「話す」「書く」活動を中心とするパートと「読む」活動のパートが分けられている。「読む」では、まとまった分量を読んだり必要な情報を取り出したりする活動に重点が置かれている。課の最後には、学習内容を活用させるような「聞く」「話す・書く」活動が設定されている。小単元のDaily Sceneは、全課の後に設定されている。Presentationは1年と同様である。</p> <p>(3年) 2年とほぼ同様である。</p>					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">単元(Unit)の構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年 生</td> <td>①本文を「読む」 ②「聞く」「話す・書く」活動を行う ※「Listening Activity」(聞く活動)が4箇所設定</td> </tr> <tr> <td>2 年 生</td> <td>①「Starting Out」 まとまりのある文「聞く・話す・書く」活動が中心 ②「Dialog」 対話文 ③「Read and Think」 長文を「読む」→ 必要な情報を取り出す活動 ④「Activity」 「聞く・話す・書く」活動</td> </tr> </tbody> </table> <p>3～4の課のまとまり毎に、それまでの既習事項を活用する自己表現活動のページが設けられている。</p> <p>【4技能のバランス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生は教科書本文を「読む」、その後に「聞く」「話す」「書く」活動の流れで、4技能を扱う活動が総合的に構成されている。 ・2, 3年生は、課の前半は1年生の構成と同じであるが、課の後半はまとまった分量の英文を「読む」活動に主眼を置いた構成となっている。課の最後(Activity)では、学習の確認のための「聞く」活動と表現活動(「話す」「書く」活動)が設定されている。 	単元(Unit)の構成		1 年 生	①本文を「読む」 ②「聞く」「話す・書く」活動を行う ※「Listening Activity」(聞く活動)が4箇所設定	2 年 生
単元(Unit)の構成						
1 年 生	①本文を「読む」 ②「聞く」「話す・書く」活動を行う ※「Listening Activity」(聞く活動)が4箇所設定					
2 年 生	①「Starting Out」 まとまりのある文「聞く・話す・書く」活動が中心 ②「Dialog」 対話文 ③「Read and Think」 長文を「読む」→ 必要な情報を取り出す活動 ④「Activity」 「聞く・話す・書く」活動					

	<p>読み物教材「Let's Read」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生 1作品 ・ 2年生 3作品 ・ 3年生 3作品 計7作品 								
開隆堂	<p>(1年) Programの構成は、「聞く」「話す」の後で本文を「読む」、そして「書く」活動につながり、文型定着をねらいとした「話す」のあとにコミュニケーション活動を意識した「話す」活動としてTryが設定されている。小単元のPOWER UPでは、4技能それぞれを活用してコミュニケーション活動を行うように設定されている。いくつかのProgramの後に、既習事項を活用する自己表現活動としてMy Projectが全3回設定されており、このMy Projectと各ページの「書く」活動にはつながりが示されている。</p> <p>(2年) Programの構成、小単元POWER-UP、My Project等は1年生とほぼ同様である。課によって後半に、まとまった分量の英文を「読む」活動とその内容に関連付けられた自己表現活動が入っている。</p> <p>(3年) Programの構成、小単元POWER-UP、My Project、読み物教材の扱い等は2年生とほぼ同様である。</p> <table border="1" data-bbox="533 938 1176 1191"> <thead> <tr> <th></th> <th>単元(PROGRAM)の構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">全 学 年</td> <td>①「Listen」「聞く」活動</td> </tr> <tr> <td>②「Speak」「話す」</td> </tr> <tr> <td>③「Try」ペアで「話す」</td> </tr> <tr> <td>④本文</td> </tr> <tr> <td>⑤「write」基本本文を①～2文「書く」活動</td> </tr> </tbody> </table> <p>3～4の課のまとめり毎に、それまでの既習事項を活用する自己表現活動のページが設けられている。また、My Project とつながりのある「書く」活動には表示がある。</p> <p>【4技能のバランス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1, 2, 3年生全てにおける構成はほぼ同じである。各パートに4技能に関連する活動が設定されている。「話す」活動は、口ならし的な意味の“Speak”とコミュニケーションを意識した“Try”の2段階構成で、「書く」活動は、自己表現活動の内容を扱っている。 <p>読み物教材「Reading」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生 1作品 ・ 2年生 3作品 ・ 3年生 2作品 計6作品 		単元(PROGRAM)の構成	全 学 年	①「Listen」「聞く」活動	②「Speak」「話す」	③「Try」ペアで「話す」	④本文	⑤「write」基本本文を①～2文「書く」活動
	単元(PROGRAM)の構成								
全 学 年	①「Listen」「聞く」活動								
	②「Speak」「話す」								
	③「Try」ペアで「話す」								
	④本文								
	⑤「write」基本本文を①～2文「書く」活動								
学図	<p>(1年) Book1全体が4つのチャプターに分けられ、各チャプターは1～3のLessonと小単元で構成されている。各Lessonの構成は、「読む」から「聞く」「話す」「書く」活動につながり、「聞く」は会話のポイントを聞き取る選択形式、「書く」は「話す」活動の確認・定着として位置付けられている。各Lesson末のReviewでは話型が示された「話す」活動や文法事項定着のため</p>								

の「書く」活動が設定されている。小単元の Word Tree, Action!, Talking Time はモデル会話が示され、「聞く」「話す」に重点が置かれている。各チャプター末には、総合的な内容を「書く」自己表現活動と、それらを相互に意見交流する「話す」活動が設定されている。そして巻末には学習の集大成としての Book Project が設定されている。

(2年) チャプター分け, Lesson 構成, 小単元, Book Project は1年とほぼ同じ。Lesson 末の Review では、最後に概要を読み取る「読む」活動と、自己表現(英問英答含む)の「書く」活動が設定されている。チャプター末の課題は、まとまった量の英文を「書く」活動が重視され、意見交流の「話す」活動が少なくなっている。

(3年) チャプター分け, Lesson 構成, 小単元, Book Project は1・2年とほぼ同じ。Lesson 末の Review は2年とほぼ同じ。チャプター末の課題は、スピーチ, インタビュー, ディベートなど4技能を横断的に活用する内容となっている。

	単元(Lesson)の構成
全 学 年	①本文, 基本文
	②「聞く」活動
	③「話す」活動
	④「書く」活動
	⑤聞いて繰り返す活動
	⑥単元の最後「Review」話型が示された「話す」活動や文法事項を定着させる「書く」活動

3～4の課のまとめりに毎に、それまでの既習事項を活用する自己表現活動のページが設けられている。また、最後に学習の集大成としての Book Project が設定されている。

【4技能のバランス】

- ・1年生は教科書本文を「読む」、その後に「聞く」「話す」「書く」活動の流れで、4技能を扱う活動が総合的に構成されている。
- ・2, 3年生は、パート内の構成は1年生と同じであるが、各課の最後の“Review”のページにおいて4技能を活用する活動が設定されている。なお、このページにおける「読む」活動は、課の本文とは異なる読み物を扱っている。

読み物教材「Reading」

- ・1年生 3作品
- ・2年生 3作品
- ・3年生 2作品 計8作品

三省堂

(1年) Lesson の構成は、3までは概要を「聞く」活動の後に、本文を「読む」、そして「話す」「書く」につながる形である。4からは本文を「読む」活動の後に、「聞く」「話す」「書く」活動があり、その内容は相互に関連している。7からは課の後半にまとめりのある文章を「読む」活動、コミュニケーションを意識した「話す」活動、まとまった内容を「書く」活動のいずれか

が加わる。小単元の Let' s Listen, Let' s Talk, Let' s Read は、それぞれ「聞く」「話す」「読む」技能に重点が置かれた内容となっている。また3課毎に、既習事項を活用した自己表現活動を行う Project が設定されている。

(2年) Lesson の構成は1年後半とほぼ同じ形で、小単元と Project も1年とほぼ同様である。ただし、全課の後半にまとまった分量の英語を扱う「読む」活動が設定され、さらに「話す」または「書く」活動が加わる。

(3年) 2年生の形とほぼ同じである。

	単元(Lesson)の構成
1年生 L3まで	①概要を「聞く」活動 ②本文を「読む」 ③「話す」活動 ④「書く」活動 ※①から④の内容は相互に関連している
1年生 L4から 2・3年生	①本文を「読む」活動 ②「Get」基礎的な知識の習得 ・基本文→ドリル ・「聞く」活動 ・「話す」活動 ・「書く」活動 ③「Use-Read」基礎的な知識の活用 (1年生L7～) ・まとまりのある文章を「読む」活動 ④「Use-Write」または「Use-Speak」基礎的な知識の活用 ・まとまった内容を「書く」または「話す」活動 ④文法のまとめ

3～4の課のまとめ毎に、それまでの既習事項を活用する自己表現活動のページが設けられている。

【4技能のバランス】

- ・1年生前半は教科書本文を「読む」、その後に「聞く」「話す」「書く」活動の流れで、4技能を扱う活動が総合的に構成されている。L7から、課の後半にまとまった分量の英文を「読む」活動が扱われている。
- ・2, 3年生は、課の後半はまとまった分量の英文を「読む」、課の最後は「話す」または「書く」活動に主眼を置いた構成となっている。

読み物教材「Let' s Read」

- ・1年生 1作品
- ・2年生 2作品
- ・3年生 3作品 計6作品

【使用実績に関すること】

Use-Read (「読む」活動) で理解した内容を、Use-Speak (「話す」活動) で実際の場面で活用させるなど、4領域の言語活動をバランスよく行うことができた。さらに Project (統合的な活動) にもつなげやすく、既習事項を何度も活用することで定

着を図りやすかった。

- (1年) Lesson の構成は、「読む」から「聞く」「話す」「書く」活動につながるが、一つの活動に複数の技能を表記していることもある。課の最後には、複数の技能を用いて課の内容を振り返り、それらを自己表現につなげる Task が設定されている。課と課の間には、各技能を活用するヒントを学ぶ小单元 (Reading Tips, Time for Words 等) があり、また3課毎に、既習事項を活用した自己表現活動を行う Project が設定されている。
- (2年) Book 全体, Lesson の構成ともに1年とほぼ同じである。ただし, Lesson の前半は一つの活動に一つの技能を表記しているが, 後半になると一つの活動に複数の技能が表記されることもある。
- (3年) Book 全体, Lesson の構成ともに2年とほぼ同じである。

教出

単元 (Lesson) の構成	
全 学 年	① 「Hop」対話文中心 ・「読む」活動, 「聞く」活動, 「話す」活動, 「書く」活動
	② 「Step」本文がやや長い ・「聞く」活動, 「話す・書く」活動
	③ 「Task」 「読む・話す・書く」などの自己表現活動

2～3の課のまとめり毎に, それまでの既習事項を活用する自己表現活動のページが設けられている。

【4技能のバランス】

- ・1年生は教科書本文を「読む」, その後に「聞く」「話す」「書く」活動の流れで, 4技能を扱う活動が総合的に構成されている。
- ・2, 3年生は, 課の前半 (Part①②) は1年生の構成と同じであるが, 課の後半 (Part③④) は「読む」活動に主眼を置いた構成となっている。

読み物教材「Reading Lesson」

- ・1年生 1作品
- ・2年生 2作品
- ・3年生 2作品 計5作品

光村

(1年) Unit の構成は, 課全体を通して聞き概要を把握する「聞く」活動を最初に行った後で, 各パートを「読む」, その内容に関連した「聞く」「話す」「書く」活動につながる。課の最後には, 学習した内容でできることを確認する You Can Do It! が設定されている。また複数の課のまとめり毎に, 4技能を総合的に使って自己表現活動を行う Go for It! が全3回ある。また, 課と課の間にある小单元として, Let's Read, Skit Time があり, それぞれ「読む」「話す」技能に重点が置かれた内容となっている。なお, 語彙を補完するとともにコミュニケーション活動を行う Word Network は1年生のみ掲載されている。その他に, 付録として, 各技能を活用するヒントを学ぶ Your Coach や, 他教科と関連させながら英語を活用する CLIL 「英語で学び, 考えよう」が設定されている。

(2年) 1年生とほぼ同じ形であるが, Word Network はない。

(3年) 1年生とほぼ同じ形であるが、Word Network はない。

	単元(Unit)の構成
全 学 年	①全体を通して聞いて概要を把握する「聞く」活動 ②各パートを「読む」活動 ③内容に関連した「聞く」「話す」「書く」活動 ④単元の最後「You Can Do It!」 学習した内容で、できることを確認する

3～4の課のまとめり毎に、それまでの既習事項を活用する自己表現活動のページが設けられている。また、他教科と関連させながら英語を活用するCLIL「英語で学び、考えよう」が設定されている。

【4技能のバランス】

- ・ 1, 2, 3年生全てにおける構成はほぼ同じである。教科書本文に関連する「聞く」と「読む」活動どちらも概要を把握する内容で、その後の“Try It!”で4技能を扱う活動が、さらに“You Can Do It!”で場面を想定して4技能を活用するコミュニケーション活動が設定されている。

読み物教材「Let's Read」

- ・ 1年生 2作品
- ・ 2年生 3作品
- ・ 3年生 4作品 計9作品